

Aosta

Torino

Milano

Trento

Venezia

Trieste

Bologna

Genova

きっと見つかる、私の色。

イタリア留学ガイド

Guida allo studio in Italia

2020-2021



Firenze

Roma

Ancona

Perugia

L'Aquila

Campobasso

Napoli

Bari

Potenza

Catanzaro

Palermo

Cagliari

BENVENUTI IN ITALIA!

イタリアへようこそ!



www.scuolaleonardo.com/jp • スクオーラ レオナルド ダヴィンチ東京窓口

180-0003東京都武蔵野市吉祥寺南町2-29-5 • Tel. 0422-24-8897 • info@serenitalia.net

イタリア留学ガイド 2020-2021

Contents

- 02 **イタリア外務・国際協力省 文化機関
イタリア文化会館**
- 04 **イベント** 年に一度開催する日本で最大のイタリア留学イベント
イタリア留学フェア
- 06 イタリア留学総合サイト「Study in Italy」
- 08 **イタリア基本情報 Cultura**
 - 08 数字で見るイタリアの文化とその魅力
 - 10 個性豊かな20の州
 - 11 イタリアはヨーロッパへの扉
 - 12 イタリア留学の生活費
 - 13 イタリア留学の滞在方法
- 14 **イタリア高等教育事情 Istruzione**
 - 14 まず知りたい留学先情報
 - 16 留学に必要な費用
 - 18 英語で学べるイタリア留学
 - 19 数百年にわたる伝統の魅力
 - 20 事前の入学選考審査
- 22 **イタリアの大学、ここがすごい!**
 - 22 経済・経営
 - 23 ファッション、デザイン、建築
 - 24 エノガストロミー、食科学
 - 25 音楽、美術
 - 26 工学
 - 28 科学、物理
 - 29 化学、生物学、薬学
 - 30 医学
 - 31 教育学
 - 32 スクオーレ・ディ・エッチェッレンツァ
- 33 **イタリア留学のすべて**
 - 34 語学留学
 - 38 高校留学
 - 40 大学・大学院留学
 - 50 音楽院留学
 - 52 美術学院留学
 - 54 インターンシップ&専門学校留学
 - 57 クレモナヴァイオリン制作専門学校
 - 58 奨学金情報
 - 60 イタリア語検定試験
 - 61 留学先の探し方
- 62 **学校探し** イタリアの語学学校や大学など、さまざまな教育機関を紹介します
イタリアの教育機関
- 78 **留学手続きの流れ**

発行:イタリア文化会館 発行日:2020年10月29日
編集・印刷・製本:株式会社ウェルネット・インターナショナル
編集協力:公益財団法人日伊協会、イタリア文化会館
表紙イラスト:株式会社ウェルネット・インターナショナル
◎本誌の無断複写(コピー)、転載を禁じます。
◎本誌の記事内容、料金や数字は、2020年10月現在の資料に基づき編集されています。



イタリア文化会館

「イタリアを肌で感じる」

国内でイタリアを最も身近に感じる政府文化交流機関

皇居近くの閑静なエリアに位置するイタリア文化会館は、イタリア政府の文化機関として「あなたに一番近いイタリア」をコンセプトに、イタリア文化とイタリア語の普及と伊日文化交流の振興を目的として活動しています。赤い外観が印象的な建物は、イタリアの建築家、ガエ・アウレンティの設計によるものです。ガラス張りのエキジビションホールから地下へと続くダイナミックな吹き抜け空間に目を奪われるのは、イタリアのデザインならではの魅力です。

372人収容できるホールやエキジビションホールでは、美術、音楽、映画、建築、デザイン、ファッションなど、さまざまな分野のイベントが開催され、身近にイタリア文化に触れることができます。

図書室では、イタリア関連の書籍やDVDを多数所蔵し、一般公開しています。図書室企画のイタリアブックフェアでは、多数のイタリア関連書籍が集められ、毎年、多くの人が訪れています。

長い歴史を誇るイタリア語・文化コースは年4学期制で、経験を積んだネイティブの講師によるレッスンが受けられます。イタリア語は入門から上級まで、レベルに合わせて学習ができます。また、料理、ワイン、オリーブオイル、音楽、映画など、幅広い分野で知識を深めることができます。2011年から、横浜でもイタリア語講座を開講しています。

また、政府機関として大学などの高等教育機関、専門学校や語学学校への留学、政府奨学金などについての情報提供も行っています。毎年秋には、イタリアから語学学校、専門学校、大学が参加するイタリア留学フェアを開催し、イタリア留学準備のためはもちろん、各学校の情報を直接得られる絶好の機会になっています。関西地域では、イタリア文化会館大阪が同様の活動を行っています。

イタリア文化会館では、このようにさまざまなイベントを開催していますので、気軽に参加し、イタリアを肌で感じてみてはいかがでしょうか。



©Stefano Amantini



イタリア文化会館のおもな活動

- ▶ コンサート、映画上映、セミナー、講演会、展覧会などの文化催事の開催
- ▶ 東京で唯一のイタリア関係の専門図書室設置
- ▶ イタリア語・イタリア文化コースの開講
- ▶ イタリア政府認定イタリア語検定試験の実施：CILS(シエナ外国人大学)、CELI(ペルージャ外国人大学)
- ▶ イタリア政府給費留学試験の実施および手続き
- ▶ イタリアの大学、国立美術学院、国立音楽院への留学手続き

イタリア文化会館の「イタリア語・イタリア文化コース」

イタリア文化会館では、設立以来長年にわたり、イタリア語講座を開講しています。1997年以降、総合イタリア語、イタリア文化コースなど、プログラムの充実とともに受講生の数は年々増加しています。ネイティブスピーカーで語学教育の経験が豊富な講師陣によるレッスンはもちろん、イタリア文化会館で学ぶメリットはほかにもたくさんあります。



イタリア留学情報コーナー

イタリア留学についての情報コーナーがあります。お気軽にご利用下さい。主な資料とパンフレット：

- イタリア留学フェアに参加した学校(語学学校・大学など)
- イタリア留学ガイドで紹介されている教育施設
- イタリア文化会館に奨学金を提供している語学学校
- イタリア留学関連情報(保険、航空券など)



特徴

経験豊かなネイティブの講師

毎年講師のためのイタリア語教育法の研修を実施しています。

月曜日から日曜日まで、朝から夜まで

社会人でも通いやすいコース編成です。

イタリア文化会館主催の多彩なイベントへの参加

コンサート、映画祭、講演会などにご参加いただけます。

新宿、渋谷などからもアクセスは抜群

落ち着いた環境の中でイタリアを満喫できます。

日本人に適したオリジナル教材

入門クラスで使用するオリジナル・テキスト「OPERA PRIMA」は、習得の速度を速め、会話が上達するようにCD、DVD技術を活用して、日本人の入門者向けにイタリア文化会館監修のもとに製作された新形式の教科書です。マルチメディア教材を使った実践的なコミュニケーションアプローチを通じて、初回のレッスンから学習者が積極的にイタリア語を話すことができるように編集されています。



プログラム

- ▶ 総合イタリア語、会話とリスニング、文法・作文、ビジネスイタリア語
- ▶ イタリア文化コース(歴史、文化、文学、時事問題、映画など)
- ▶ 多彩なセミナー(ワイン、オリーブオイル、旅行会話、芸術など)
- ▶ アートラボ(イタリア刺繍、銅版画、カンツォーネ、古典歌曲など)
- ▶ オペラコース(オペラ解説、発音講座など)

www.iictokyo.com

Tel:03-3262-4500 Fax:03-3262-4510

e-mail:corsi.iictokyo@esteri.it

イタリア文化会館

〒102-0074 東京都千代田区九段南2-1-30

Tel : 03-3264-6011 Fax : 03-3262-0853

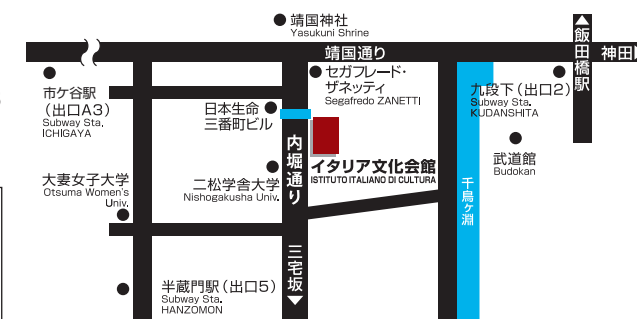
e-mail : iictokyo@esteri.it

www.iictokyo.esteri.it

【事務室】月・水(10:00-13:00 / 14:00-18:30)
火・木・金(10:00-13:00 / 14:00-18:00)

【イタリア語コース】
月～土(10:30-18:30)

【図書室】月～金(10:00-13:00 / 14:00-18:00)
土(10:00-18:00)



東京外口東西線、半蔵門線、都営新宿線「丸段下」駅下車徒歩10分
※駐車場はありませんので、車での来館はご注意ください。

毎年11月開催

イタリア留学フェア



「イタリア留学フェア」は、イタリア文化会館で年に一度開催される貴重なイタリア留学のイベントです。

- ◆ 来日した大学・専門学校・語学学校の関係者と気軽に相談できる!
- ◆ 1週間の語学留学から大学や専門学校などの長期留学まで、幅広い留学情報!
- ◆ 各ブースに日本人スタッフや通訳アシスタントが常駐しているから安心!
- ◆ 留学経験者の体験談やセミナーで充実した留学情報!

ようこそ



留学希望者はもちろん、
イタリアに興味のある方すべてに
楽しんでいただけます。

イタリア文化会館へは
地下鉄九段下駅2番出口から徒歩約10分
地下鉄半蔵門駅から徒歩約12分
JR・地下鉄市ヶ谷駅から徒歩約15分

ゼロから
分かる
イタリア留学
コーナー



総合案内や留学サポート情報を提供します。

イタリアの基本情報や初めてのイタリア留学など、さまざまな留学情報のご案内から、各種教育機関への留学の相談ができます。

- ★イタリア観光・生活情報
- ★初めてのイタリア留学
- ★イタリア・プチ留学
- ★語学学校、専門学校、工房などの留学相談
- ★高等教育(大学・音楽院・美術学院)留学手続き・イタリア政府奨学金の留学相談
- ★語学学校奨学金



学校
コーナー



興味のある学校のブースを巡ってみよう。

イタリアから来日した学校が個別ブースを出展。それぞれのブースを巡って学校や地域の情報を入手しましょう。各ブースには日本人スタッフや通訳アシスタントが常駐しており日本語でのやり取りが可能です。

<参加学校・団体>

- ★総合大学
- ★外国人へのイタリア語の専門教育を行う大学
- ★高校生交換留学プログラム
- ★イタリア語の語学学校
- ★デザイン・ファッション学校
- ★イタリア料理の専門学校
- ★インターンシッププログラム



学校と留学サービスブースをたくさん回ってスタンプラリー抽選会に参加しよう!
抽選で豪華プレゼントが当たります。

「イタリア留学フェア」では、開催中に6つ以上のブースを訪問された方を対象に、抽選で豪華賞品が当たる「Giro d'Italia スタンプラリー」を行っています。ぜひスタンプラリーにチャレンジしてください。

一等賞
イタリア往復の航空券



留学
セミナー



フェア参加大学、英語で開講されている学位取得コースの紹介、イタリア留学総合情報、入学手続き、イタリアの観光情報など、さまざまな情報が手に入ります。参加大学や専門学校によるプレゼンテーションの「セミナー・デー」、および観光、高校留学、語学留学、留学体験のセミナーなどが行われます。

留学体験談
コーナー



留学についての貴重な体験談を聞こう。
留学体験談コーナーでは、イタリア留学経験者がみなさんの質問にお答えします。イタリアでの暮らしや学校生活など、気になることを直接聞くことができます。

イタリア人
留学生との
交流会



日本語とイタリア語で気軽に交流しませんか?

「イタリアに留学したい」、「イタリアについてもっと知りたい」という方。現在、日本で学んでいるイタリア人留学生と交流し、情報交換しましょう!

日本人中高生・大学生とイタリア人留学生の交流会、およびイタリア語に興味がある方と日本語を学んでいるイタリア人留学生の交流会が行われます。



イタリア留学フェアの詳細はウェブサイト!

studyinitaly.jp/fair

イタリア留学フェア

検索

※掲載写真は過去に行われた「イタリア留学フェア」のものです。

イタリア留学総合サイト「Study in Italy」



イタリア文化会館は、イタリア留学総合サイト「Study in Italy」を開設しています!

気軽に行けるイタリア留学から専門的に学べる本格留学まで自分にあった留学スタイルが見つかります。



- CONTENTS ▶ ニュース ▶ イタリア留学フェア
▶ 留学手続き ▶ 奨学金 など



▲ひとことで留学といっても、その内容は様々。何をどの地域で学びたいのか? 期間はどれくらい? どこに滞在する?それぞれの希望に合ったスタイルを見つけよう!

▲イタリアの様々な教育機関の検索ができます。

studyinitaly.jp へアクセス!



最新の留学情報をいつもお手元に!

「ニュース」コーナーでも紹介しているイタリアの大学・大学院、音楽院、美術学院の高等教育をはじめ、ファッション、デザイン、料理などの専門教育に関するさまざまな情報がFacebook、Instagram、Twitterで配信されています。



➤ **イタリア基本情報 Cultura**

P08-13

➤ **イタリア高等教育事情 Istruzione**

P14-21

➤ **イタリアの大学、ここがすごい!**

P22-32

近年、留学先として注目を集めるイタリア。
イタリア留学の魅力を様々な視点からご紹介します。



世界遺産に囲まれる日常

ローマ遺跡にルネサンス建築、雄大なドロミテ山脈から田園風景まで、ユネスコ世界遺産の数は世界一を誇ります。留学先の町や地域が、そのまま世界遺産の中に含まれていることも珍しくありません。休日に各世界遺産を訪ね歩いてみるのもよいでしょう。



ダ・ヴィンチからフェラーリまで イタリアの美の秘密に迫る

フィレンツェのウッフィツィ美術館をはじめ、各地の古代文化を伝える考古学博物館、さらに、イタリアを代表するファッション・ブランドやインダストリアル・デザインの博物館まで、そのバリエーションの豊かさ魅力です。

美術館・博物館 の数

(2018年)*1



イタリア国内におけるイベント数

(2019年)*2



イタリア基本情報

数字でみるイタリアの

Basic information about Italy

ファッションにワイン、車に美容 見本市はイタリアの魅力が凝縮

見本市や国際会議をはじめとするイタリア国内で開催されるイベントの数も年々増加しています。会場は、首都ローマ、経済の中心地ミラノに限らず、それぞれの特徴や伝統により全国各地に分散しているのも特徴です。

目が離せない

2026年冬はイタリアに注目!

2006年のトリノ・オリンピック以来20年ぶり、北イタリアの経済都市ミラノと、コルティナ・ダンペッツォで冬季五輪が開催されます。コルティナは1956年以来2度目、ミラノでは初の五輪。五輪初の複数都市開催でもあり、新しい時代のオリンピックとして注目です。



ひとことで語れない



ヨーロッパの礎はイタリアから

紀元前8世紀の建国以来、一千年近く栄えたローマ帝国は、紀元後3世紀には欧州大陸から北アフリカまで広大な地域を支配し、現在の「ヨーロッパ」の基礎を築きます。大小の都市国家による群雄割拠の世を経て、1861年にイタリア統一。長い歴史の積み重ねが現在のイタリアを形成しています。

2700年以上の イタリアの歴史

Cultura

文化とその魅力

知れば知るほど、もっと知りたくなる、長く複雑な歴史を持つイタリア。その魅力は多様性と懐の深さです。あなたにピッタリのイタリアがきっと見つかるはず。

小さな町のお祭りは個性豊か 特産品の収穫祭も

風刺の効いた仮装パレードで知られるヴィアレージョのカーニバル、イヴレアのオレンジ合戦、花びらで地面に絵を描くスベッコのインフィオラータ、シエナの競馬パリーオに人間チェスのマロスティカ。観光客にも人気のお祭りのほか、各地の収穫祭では採りたての野菜や果物が楽しめます。

季節の祭りに 彩られた



世界観光ランキング 5位

(2019年)*3

コロッセオにゴンドラ、そしてドゥオーモも

訪問者の数では、ローマ、ミラノ、フィレンツェ、ヴェネツィアが際立っていますが、シチリアやサルデーニャ、アルプスの山岳地帯も人気です。北から南まで、大都市も小さな村も、山も海も楽しめるのがイタリアです。

個性豊かな20の州

Basic information about Italy

地中海の真ん中にブーツのような形で浮かぶイタリアは、20の州で成り立っています。海に囲まれ山を抱き南北に長いイタリア、風光明媚なだけではありません。

歴史的に、大小さまざまな都市国家が競い合い切磋琢磨して個性豊かな文化を生み出してきました。

同じイタリアといえども、それぞれの土地で風景や生活習慣、料理も異なります。

永遠の都ローマを抱くラツィオ州、経済都市ミラノを中心とする

ロンバルディア州、ブーツのかかとに位置するプーリア州は

広大なオリーブ畑と美しい海が自慢、3,000メートル級の山脈を背景に

古代遺跡の残るヴァッレダオスタ州、多くの民族や文化の融合の歴史が

色濃く残るシチリア州。20の州から成るイタリアは、

20の小さな国の集合体。自分にピッタリ合ったイタリアを探しに行きましょう!

©Yaruniv-Studio-Adobe Stock



Buon appetito!
彩りあふれる「食」

北から南まで、豊かな自然に恵まれたイタリアは、その「食」のバリエーションの多さが特徴です。イタリア料理といえばなんといってもパスタ、そのパスタの種類だけでも全国で300種以上あると言われています。ほかにも、肉や魚、野菜と新鮮な素材を生かしたシンプルで土地ごとに異なる味が自慢です。

またイタリア料理は2013年、地中海料理として無形文化遺産に指定されました。これは特定の料理を指すものではなく、オリーブオイルと穀類、豊富な野菜や乳製品を中心とした食生活が評価されたものです。長い留学生生活を快適に、健康に過ごすためにも、イタリアの「食」は、留学生活の基本であると同時に、楽しみのひとつになることでしょう。



©Duke-Adobe Stock

ナポリといえばピッツァ! 太陽をたっぷり浴びて育った真っ赤なトマトに、カンパーニア地方特産モッツアレラ・チーズとバジリコの緑の葉をのせたピッツァは、このナポリで生まれました。



©Grafvision-Adobe Stock

エミリア・ロマーニャ州は、地域特性を生かした加工品の一大産地。バルマの生ハム、モデナのバルサミコ酢と、世界中に知られる食材はここで生まれます。料理の専門学校も多くあります。



©denio109-Adobe Stock

フィレンツェやシエナなど多くの大学都市を持つスカーナ州は、なんと言ってもお肉がおいしい! Tボーン・ステーキは、滞在中に一度は試してみたいものです。

イタリア留学は、ヨーロッパへの第一歩



イタリアはヨーロッパへの扉

Basic information about Italy

イタリアは、古くより独自の文化を育む一方で、常に数多くの民族を受け入れてきました。

20世紀後半以降、ヨーロッパの国々は、言語も歴史的背景も異なる中で、

共に発展を目指す欧州連合(EU)という新しい枠組に取り組んできました。

イタリアに住む、それは、広大なヨーロッパの扉を開いたも同然です。

EU **27**カ国という強み

全加盟国の国土総面積は、約400万km²を超え世界第7位、人口で第3位を占める欧州連合(EU)は、GDP(国民総生産)では米国に次いで第2位を誇ります。巨大な文化・経済圏に身を置くことで、留学先の国だけではなく、欧州各国で研究活動や就職の可能性を広げることができます。また、イタリアを拠点に、陸続きで高速バスや電車を使って気軽に各加盟国を訪れ、多様な言語や文化に触れる機会にも恵まれています。

ヨーロッパの

中心国

27カ国が加盟する欧州連合、イタリアは発足メンバーのひとつで、地理的にもその中心に位置しています。古代ローマ時代はもちろんのこと、中世にもイタリアは栄華を極めた文化を誇り、経済的、および政治的な面においてもヨーロッパと地中海文化圏に大きな影響を与えてきました。

究極の

多様性

欧州連合の公用語は24言語。それは、独自の文化をもつ27カ国からなる、世界一大きいメルティングポットです。各加盟国がそれぞれのアイデンティティを維持しつつ、欧州全体の調和を保ち、かつ複合的な文化多元主義社会を構成しています。

異文化の

交差点

現在、イタリアでは500万人あまりの外国人が暮らしています。その割合は、全人口のおよそ1/12。多様性の高い社会のなかで、情報やアイデアの交換も活発に行われています。そうした異文化交流は、古代ローマ時代より、外国人や異教徒を受け入れ、国民として迎え入れてきたイタリアならではの文化です。

イタリアの外国人留学生は

300,000人

大学や専門学校では、ヨーロッパのみならず、米国、アジアなどから来た、およそ30万人の外国人留学生が学んでいます。出身や言語、目的や年齢などさまざまな学生たちとの出会いは、イタリア留学の魅力のひとつです。また、学生のほか、世界各地から優れた教授陣、研究者も多く集まっており、自分の専攻をイタリア人の観点だけではなく、「世界」という幅広い視野から学ぶことができます。

「エラスムス・プログラム」

あなたもヨーロッパの学生に

「エラスムス・プログラム」は、EU圏内の大学に在学する学生が数ヶ月から1年、圏内の大学への交換留学ができる制度です。イタリアをはじめ、各加盟国の大学に在籍する多くの学生がこの制度を利用しており、盛んな交流が行われています。



イタリア留学の生活費

Basic information about Italy

生活費の安さ、それもイタリア留学の重要なメリットのひとつです。世界各国の物価比較サイトNUMBEOによると、ローマで1人暮らしをする場合、1カ月の生活費は約9万円(家賃除く)。家賃込みでもローマでの生活は、東京に比べ18%以上経済的、イタリアの中では最も物価の高いミラノでも11.85%も東京を下回っています。

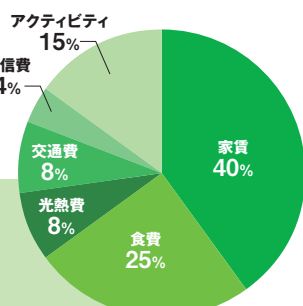
意外と物価が安い!
工夫次第で暮らしやすい国



©eyewave - Fotolia.com

留学中の日常生活にかかる費用の内訳

留学の日常生活、どのようなものにどれくらい費用がかかるのでしょうか。1カ月の生活費の内訳とその割合をみてみましょう。



1カ月間の生活費の平均的な金額
▶100,000円

※イタリア文化会館が現在イタリアに留学中、あるいは過去にイタリア留学をした方々に行ったアンケート結果を基に算出したデータを記載しています。

物価比較表

	ローマ	東京
牛乳(1リットル)	1.31ユーロ (157円)	188円
米(1キロ)	1.98ユーロ (238円)	275円
りんご(1キロ)	1.94ユーロ (233円)	786円
オレンジ(1キロ)	1.89ユーロ (227円)	615円
トマト(1キロ)	2.17ユーロ (260円)	580円
牛ステーキ肉(200g)	2.98ユーロ (357円)	532円
ミネラルウォーター(1.5リットル)	0.39ユーロ (47円)	131円
ワイン(中級、1本)	5.50ユーロ (660円)	1,350円
カプチーノ	1.27ユーロ (152円)	395円
映画	9.75ユーロ (1,170円)	1,800円

種類が豊富なイタリアのお米。白米もおいしく炊けます。

野菜や果物は圧倒的な安さがある!うれしい!

(1ユーロ=120円で換算) 出典:NUMBEO



©Vito Arcomano - Fototeca ENIT

提供:日伊協会

イタリアの朝食に欠かせません。

市内移動は格安で自由自在

交通費

バス、地下鉄など公共交通機関の料金体系が複雑な日本と異なり、イタリアの市内移動は極めてシンプル。ローマ市内なら1.5ユーロ(180円)の1回券で100分まで、異なる路線を乗り継いで利用可能です。また1カ月の定期券は35ユーロ(4200円)、自宅から学校への経路に限らず自由にどこへでも行くことができます。



©le11 - Fotolia.com

イタリア人学生と同じ待遇

学生割引

イタリアで学ぶ学生の場合、外国人留学生も全て、待遇はイタリア人の学生と同じです。学生寮や食堂、定期券の購入はもちろん、図書館や博物館から劇場、スポーツジムの利用など、学生割引制度が適用されます(所属の学校、年齢など条件により内容は異なります)。



©Università degli Studi di Torino

イタリア市民と同じサービス

医療制度

留学で長期の滞在となると心配になるのが、医療制度。正規留学の場合、その期間中は現地の健康保険に加入することになります。地元ホームドクターに登録し、イタリア一般市民と同様の医療サービスを受けます。また、イタリアでは、病気、ケガいずれも救急の場合は、出身や国籍に関係なくすべての人が平等に利用できます。



©nenetus-Adobe Stock

イタリア留学の滞在方法

Basic information about Italy

イタリア語は家さがしでも役立ちます!

滞在方法は、大きく3つあります。特徴を見比べて、自分に合ったスタイルを選んでください。

ホームステイ

イタリア語の上達だけでなく、イタリア人のありのままの暮らし、習慣や考え方を知る絶好の機会です。基本的に、食事の選択(食事なし、朝食つき、朝夕2食つき)をすることができます。

○メリット

- ・日常会話にふれる機会が多く、語学の上達が早い。
- ・家具や生活用品を自分で買いそろえる必要がない。
- ・基本的には1人部屋で、プライバシーを守る。

✕デメリット

- ・食事や帰宅時間など、各家庭のルールに従わなくてはならない。
- ・ホームステイ先の食事や人柄になじまない場合もある。



写真提供:日伊協会

学生寮

大学によっては、キャンパス内か近くに学生寮を備えているところがあります。世界中から集まった留学生たちが共同生活を送る寮では、イタリアだけでなくさまざまな国の文化にふれることができます。寮の利用の仕方については、大学や季節によって状況が変わり、夏休みなどの長期休暇中は閉鎖されることもあるので、事前に確認しておきましょう。

○メリット

- ・クラスメート以外にも友人をつくりやすい。
- ・世界各国の人と知り合う機会がある。
- ・キャンパス内や近くにあることが多く、通学に便利。

✕デメリット

- ・相部屋になることが多く、プライバシーが保ちづらい。
- ・トイレとシャワー、キッチンが共同。
- ・学校の休校期間中は閉鎖される場合がある。



写真提供:日伊協会

アパート

18歳以上の学生は個人でアパートを借りることができます。また、イタリアの学生たちの間では、数人でアパートの一室や一軒家を借りるルームシェアが人気。大学があるエリアにはルームシェアに対応したアパートが数多くあります。はじめはホームステイや寮で暮らし、留学生活に慣れてからアパートを借りるのが一般的です。

○メリット

- ・自分のペースで生活できる。
- ・いろいろな手続きを自分で行うことで自立心を養える。
- ・ルームシェアや自炊で生活費を抑えることができる。

✕デメリット

- ・新規でアパートを借りる場合、家具つきアパートでない家具や生活用品を一から揃えなければならない。
- ・各種契約などをすべて自分で行わなければならない。



© gennaro coretti - Fotolia.com

先輩の家さがし方法ランキング

(注:イタリア文化会館調査)

- 1位 現地の先輩や知り合いに頼んで探してもらった。
- 2位 先生に紹介してもらった。

3位 インターネットで探した。

大学のHP内学生サービスで紹介しているサイトでは www.housinganywhere.com などがあります。この他にフェイスブック等のSNSでも探すことができます。(例:キーワード「都市名、affitto」で検索)

「家さがしのサイトには、都市や滞在期間を日ごとに細かく検索できるものもあって便利でした」

先輩アドバイス

イタリア政府が紹介するステイ先のリンク集

Conferenza dei Collegi di Merito legalmente riconosciuti (www.collegiuniversitari.it)
Fondazione RUI (www.fondazionerui.it)
Fondazione Ceur (www.camplus.it)

※この施設の使用に関するトラブルや損害に関しては、イタリア政府およびイタリア政府機関は一切の責任を負いません。

番外編 大学留学の場合、ダブルスクーリングの語学学校で家を探した。

「大学と州(ヴェネト)が連携した学生サービスのサイトで家さがしができます」(ノバヴァ大学留学)
www.esupd.gov.it/en

「学生サービス団体が運営するサイトで家さがしの方法があります」(ボローニャ大学留学)
www.saisaccommodation.it

先輩アドバイス

ひと目でわかる!

イタリア高等教育事情 Istruzione
まず知りたい

留学先情報

あなたが目指す留学の期間は？
学費は？ イタリア語レベルは？
事前に調べておきましょう。

期間	留学先	学費	言語	申請時期	手続き方法
1週間 ▼ 3か月間	1週間からできる語学プチ留学 → 行ってみよう! 気軽にイタリアを体験できる	約8万円/1ヵ月	イタリア語ゼロから	通年	自分で直接学校に申請
	語学留学	約8万円/1ヵ月	イタリア語ゼロから	通年	自分で直接学校に申請
	大学のサマースクール/ウィンタースクール	約3~25万円	イタリア語レベルはコースによる  英語のみでも可	コースによる	www.universitaly.itで登録
	音楽院マスタークラス、ワークショップなど	コースによる	コースによる	コースによる	自分で直接学校に申請
4ヵ月 ▼ 1年間	語学留学	約8万円/1ヵ月	イタリア語ゼロから	通年	自分で直接学校に申請
	大学の単科コース	8~15万円/1年間*	イタリア語B1レベル以上  英語のみでも可	留学希望先の大学で確認	www.universitaly.itで登録
	大学の交換留学 → 在学中、休学せずにイタリア留学ができる!	在学中の大学で確認	イタリア語B1レベル以上  英語のみでも可	在学中の大学で確認	在学中の大学を通して
	大学のFoundation Course → 実践的スキルを身につけ、キャリアアップにつなげよう!	約60万円/1年間	イタリア語レベルはコースによる  英語のみでも可	4月~6月要問合せ	www.universitaly.itで登録
	大学1年課程のProfessional Master/Specializing Master	25~250万円/1年間	イタリア語B2レベル以上  英語のみでも可	コースによる	www.universitaly.itで登録
	ファッション/デザイン/料理の専門学校コース	25~250万円/1年間	イタリア語B1レベル以上  英語のみでも可	コースによる	自分で直接学校に申請
2年間 ▼ 3年間	大学3年課程のBachelor's degree → 英語で学べる豊富なコースに注目!	15~20万円/1年間*	イタリア語B1レベル以上  英語のみでも可	4月~6月	www.universitaly.itで登録
	大学2年課程のMaster's degree	15~20万円/1年間*	イタリア語B2レベル以上  英語のみでも可	4月~6月	www.universitaly.itで登録
	大学院3年課程のPhD → 高い就職率が魅力。仕事につなげよう!	15~20万円/1年間*	イタリア語B2レベル以上  英語のみでも可	コースによる	www.universitaly.itで登録
	ファッション/デザインなど美術系専門学校の学位取得コース	25~250万円/1年間	イタリア語B1レベル以上  英語のみでも可	コースによる	www.universitaly.itで登録
	音楽院/美術学院3年課程のBachelor's degree	15~20万円/1年間	イタリア語B1レベル以上	4月~6月	www.universitaly.itで登録
	音楽院/美術学院2年課程のMaster's degree	15~20万円/1年間	イタリア語B1レベル以上	4月~6月	www.universitaly.itで登録

*国公立の場合

*「www.universitaly.itで登録」の場合、P78「留学手続きの流れ」をご参照ください。

スタイル別にみる

留学に必要費用

期間も滞在地も目的も、さまざまな希望を実現できるイタリア留学。
まずはお金のことを知って、あなたに最適

気になるその費用はどれくらいかかるのでしょうか？
な留学スタイルを見つけてみましょう！



写真提供：山本智永

大学・大学院

欧州最古のボローニャ大学を筆頭に伝統ある大学がイタリア各地に点在。
ほとんどが国立のため年間の学費は15~20万円程度。長期留学でも費用を気にすることなく、国際色豊かな環境で専門知識を深めることができます。



©Università degli Studi di Brescia



- ▶ イタリアの大学・大学院は国公立が多く、授業料を安く抑えることができる。
- ▶ 大学・大学院の場合、通常の学位取得コースの授業料は低めだが、1年間の専門マスターコースのような特殊なコースの場合は例外的に授業料が高いケースもある。
- ▶ 学位取得コースの場合、コースごとに奨学金や授業料割引が設けられていることもある。
- ▶ 授業料のほかに、テキストや参考書などの購入にかかる費用を考慮しておいた方がよい。

1年間の平均的な金額
1,680,000円

入学手続き・ビザ…… 50,000円
航空券…… 120,000円
留学保険…… 130,000円
学費…… 180,000円
生活費…… 1,200,000円

大学・専門マスター留学

1年間の平均的な金額の幅
1,740,000円~5,100,000円

入学手続き・ビザ…… 50,000円
航空券…… 120,000円
留学保険…… 130,000円
学費…… 240,000円~3,600,000円
生活費…… 1,200,000円

専門研究コースの中でも実践的なスキルを学ぶ専門マスター (Master Universitario I e II livello / Professional Master, Specializing Master) の授業料は他の学位取得コースに比べて高めに設定されています。また、専門分野やプログラムの内容によって授業料に大きな差があるのが特徴です。

※上記はあくまでも参考金額です。大学・大学院の授業料は、国立あるいは私立、またコースによって大きく異なります。

語学留学

旅行感覚で行ける1週間のプチ留学からイタリア語を習得するための長期留学、さらにアートや料理、オペラ、ファッションなど本場の文化に触れる「語学+a」の体験もできます。1週間や月単位で留学期間を設定できるので予算に応じた選択が可能。

1カ月の平均的な金額
330,000円

入学手続き・ビザ…… —
航空券…… 100,000円
留学保険…… 30,000円
学費…… 80,000円
生活費…… 120,000円

1年間の平均的な金額
2,110,000円

入学手続き・ビザ…… 10,000円
航空券…… 120,000円
留学保険…… 130,000円
学費…… 650,000円
生活費…… 1,200,000円



©CENTRO MACHIAVELLI



- ▶ 留学期間によって費用が大幅に変わる。
- ▶ 長期留学では割引を適用する学校もある。
- ▶ 集中コースや特別コースを受講する場合、コースごとに授業料が異なる。
- ▶ 滞在が90日を超えない短期留学の場合は就学ビザが不要なので、申請費用がかからない。

音楽院・美術学院留学

世界の第一線で活躍するアーティストを数多く生み出している芸術の国イタリアでは、世界有数の音楽院・美術学院が数多く存在します。多くの学校が国立で、年間の学費も15~20万円程度です。



- ▶ 音楽院留学では、練習室などを借りる場合に費用がかかる。
- ▶ 音楽院留学で留学先の学校以外で個人レッスンを受けたり、コンクールに参加する、また、オペラ公演やコンサートなどに行くなど、個々の事情で費用がかかる。
- ▶ 美術院留学では、作品制作に費用がかかる場合もある。

専門学校留学

仕事に直結するハイレベルな実践的スキルを身につけられるのが専門学校留学。コースは多様な専門分野に及び、さまざまなニーズに対応しています。専門学校の授業料は、コースの開講期間や内容によって大きく異なります。



写真提供：日伊協会



- ▶ 専門学校のほとんどが私立で年間の授業料は高め。
- ▶ 専門分野によって授業料に差がある。
- ▶ 学校によっては授業料にコース期間中のイタリア滞在費が含まれていることもある。
- ▶ 授業料の他に年間の登録料や事務手続き料が必要なケースもある。

1年間の平均的な金額
1,640,000円~5,660,000円

入学手続き・ビザ…… 10,000円
航空券…… 120,000円
留学保険…… 130,000円
学費…… 180,000円
~4,200,000円
生活費…… 1,200,000円

※上記はあくまでも参考金額です。専門学校の授業料は、学校や専門分野などによって大きく異なります。

イタリア留学のために利用できる奨学金があります。

イタリア文化会館イタリア留学総合サイト Study in Italyの「学校トピックス」で、大学・専門学校・団体等が提供する奨学金の情報をお知らせしています。

☞ <https://studyinitaly.jp/topicspage/>



※上記奨学金の詳細は、58、59ページを参照して下さい。

※イタリア文化会館が現在イタリアに留学中、あるいは過去にイタリア留学をした方々に行ったアンケート結果を基に算出したデータを記載しています。本特集に掲載した留学費用はイタリア文化会館が独自に調べた参考金額で、2016年9月付のレートに基づき算出しています。これらの金額は今後の為替レートの変動で変わる可能性もあります。

英語で学べるイタリア留学

国際化が進むイタリアの大学では、英語で講義が行われる学位取得コースが年々増加しており、英語だけでの学位取得も可能です。こうしたコースは、世界各国から留学生が集まっていることも特徴のひとつ。多様な文化的背景をもつ学生との交流を通じて、国際的な広い視野が身に付きます。

英米圏と同様に 英語で専門分野が学べる

「英語による学位取得コース」なら、授業は全て英語で行われるので、英米圏の大学と同様に専門分野を英語で学び学位を取得できます。また、英語で開講されるコースに通う学生の大半は外国人。大学内の共通言語は英語なので、英語力をアップできます。

ワールドワイドな交流が育む 多様な視点

世界各国から集まった優れた教授陣、研究者による国際的な環境が整っています。様々な文化背景を持った教員や学生との対話が広い視野をもたらしてくれます。

幅広い分野を英語で学べます

イタリア全国の大学に、英語で学べるコースは1,000以上もあります。医学、理工系分野から、経済、経営はもちろん、国際関係、情報の他、観光、デザイン、ファッション、食科学など、イタリアならではのコースも数多く用意されています。

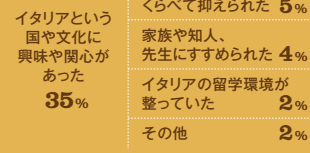
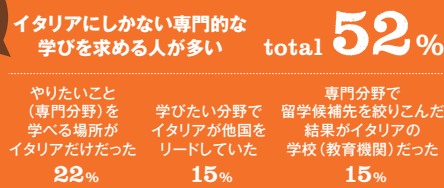
国際色豊かな大学が開講する 「英語での学位取得コース」の主な分野はこちら

- Economics and Statistics
- Banking, Finance and Insurance Science
- Law
- Management of Arts
- Fashion Communication
- Fashion Events and PR
- Car Design
- Graphic Design
- Science and Technology
- Biology
- Physics
- Medicine and Surgery
- Psychology
- Political and Social Sciences
- Sociology
- Agricultural, Food and Environmental Science

言葉の壁を越えた イタリアの豊富な コース展開に注目

英語でイタリアの大学が提供する豊富なコースを選べるようになった近年では、従来のイタリア語学習者やイタリア好きな方々だけではなく、イタリアとなじみのない留学生からも学びの場として選ばれています。学びたい分野をイタリアでも!

どうして
イタリアに
決めた?



*イタリア文化会館が2017年に実施したアンケート結果の一部を掲載しています。



国際的な産学連携コースで 学ぶ実践的プログラム

イタリアだけではなく国外の大学や研究機関、企業などと連携して、実社会に応じたプログラムも多数展開されています。また、EUの「交換留学制度」エラスムス(ERASMUS)を使えば、域内加盟国の好きな大学に英語で交換留学もできます。

英語+1ヵ国語 就職活動で英米圏留学に差別化

大学や付属の語学センターでは、留学生を対象にしたイタリア語・イタリア文化コースなどが開講され、専門分野と併せてイタリア語も学ぶことができます。スーパーや市場での買い物、ルームメイトや現地で知り合った友人との会話など日常生活では積極的にイタリア語を使うことで新たな出会いも生まれます。大学では英語を磨きつつ、プラス1の外国語としてイタリア語を身につけることで、帰国後は英米圏に留学した多くの学生に一歩も二歩もリードできます。また、ファッションやデザインなど、ものづくりの分野においては、イタリア語が優れた場面も。町工場や職人工房にダイレクトにアクセスする貴重な鍵となるでしょう。

数百年にわたる伝統の魅力

イタリアは、教育の分野でも長い歴史と伝統を誇ります。

ボローニャ大学は、1088年創立

欧州で最も古いボローニャ大学では、人体解剖も世界で初めて行われました。常に最新の研究を試みるその精神は、イタリアの他の大学にも受け継がれています。1222年創立のパドヴァ大学は、イタリアで2番目に古く、ダンテ・アリギエーリやペトラルカ、ガリレオ・ガリレイが教鞭を執ったことでも知られているほか、1595年に建てられた解剖劇場が今でも残されています。



歴史遺産に囲まれて学ぶ

ボローニャ大学に限らず、イタリアの多くの大学は数百年の歴史を誇り、それぞれの町の中心部にあり、その町の風景の一部となっています。校舎も歴史的な建造物であることが多く、何百年も前に描かれたフレスコ画や漆喰彫刻に囲まれての授業は、貴重で忘れがたい経験となるでしょう。



研究活動のための 貴重な図書や資料も

大学図書館をはじめ、各都市にある図書館や古文書館はまさに研究対象の宝庫といってよいでしょう。手稿を含む歴史的資料の閲覧は、誰にでも開かれています。新しい発見をしたり、研究の第一人者となる可能性も十分に秘められています。



学び、
即、確かめる!

美術、建築、考古学、音楽、歴史などの古典的な分野はもちろんのこと、法学や国際関係などの分野でも豊富な文献や資料に触れ、活用することができます。大学で学んだその足で現場に向かい、学んだ内容を自らの目で確かめることができるのも貴重な体験です。目にしたものをどう感じ、受け取るかはあなた次第。理論だけでなく、本物を前にしての学びは、歴史遺産に囲まれたイタリアならではのと言えます。

事前の入学選考審査を受けて、 イタリアの大学に入学する！

イタリアの大学の入学試験は、イタリア教育大学研究省（以下「イタリア大学省」）規定によって、通常、留学する年の9月に各大学で実施されますが、教育機関やコースによっては、入学の1年～数カ月前に入学選考審査を実施しているところもあります。これに合格すると、早めに留学先を決定させることができます。

事前の入学選考審査のメリット

- ✓ **日本で受けられる！**
書類選考が中心、面接などの場合もスカイプで。
- ✓ **併願できる！**
複数の大学で事前選考や事前評価を受けることが可能。
- ✓ **留学先が早く決まる！**
通常の9月入試にくらべて、留学先を早く決定できる。
- ✓ **留学準備に時間がかけられる！**
事前選考や事前評価なら、半年～数カ月前までに合否がわかる。気持ちにゆとりも。

対象教育機関とコース

大学

- Bachelor's degree program (Corso di Laurea) 第1レベルの3年の基礎課程
- Combined Bachelor's/Master's degree program (Corso di Laurea Magistrale a ciclo unico) 3年の基礎課程と2年の専攻課程が一貫した5～6年のコース
- Master's degree program (Corso di Laurea Magistrale non a ciclo unico) 第2レベル2年の専攻課程

国立美術学院と同等の美術学校、美術系専門学校*

- Bachelor's degree program (Corso di diploma accademico di 1°livello) 第1レベルの3年の基礎課程
- Master's degree program (Corso di diploma accademico di 2°livello) 第2レベルの2年の専攻課程

*美術系専門学校は、イタリア大学省MIUR/AFAMで認定された学位取得コースのみが対象です。

！事前選考審査で注意すること

- 自分で情報を集める。事前選考審査、あるいはPreliminary evaluation/ Valutazione preventiva(事前評価審査)が実施されるかどうかは、各教育機関のウェブサイト、あるいは直接問い合わせで確認する。
- 通常、9月に入学試験が実施されるコースでは、事前選考試験は実施されない。
- 大学の医学部などの特別な分野で定員制をとるコース(80ページを参照)では、タイプBの事前評価審査は受けられない。

※事前の入学選考審査の情報は、留学希望先の教育機関に直接問い合わせして下さい。その際に、必ず「EU圏外の出願者である」とも伝えて下さい。事前選考審査に合格した場合、イタリア大学省の高等教育専用サイト「www.university.it」でオンライン登録をし、その年度の留学手続きに進んで下さい。この手続きを完了させないと、正式な入学および、就学ビザの取得はできません。詳しくは78ページを参照下さい。

事前の入学選考審査の方法は2つのタイプがある

タイプA 事前選考試験

募集要項 CALL FOR APPLICATIONS/ BANDO DI AMMISSIONEがある

教育機関のホームページ上に募集要項(あるいはガイダンス等)が発表され、定められた期間内に必要書類を送る、あるいはオンラインでアップロードするなど応募手続きを行って、選考審査を受ける。

実施する教育機関

- 大学
- 美術学院と同等の美術学校、美術系私立の専門学校

▼ 応募方法 ▼

Step 1

教育機関のホームページ等で事前選考審査の有無を確認する。募集要項の発表や応募期間なども確認しておくを便利。

Step 2

募集要項が発表されたら、応募期間内に必要な書類等を送って応募手続きを完了させる。

Step 3

試験は書類選考が中心、口頭試験などはスカイプで行われることが多い。

Step 4

合格通知が届いたら、イタリア大学省の高等教育専用サイト「www.university.it」でオンライン登録をし、その年度の留学手続きに進んでください。*詳しくは78ページを参照。

タイプB 事前評価審査

PRELIMINARY EVALUATION/ VALUTAZIONE PREVENTIVA

募集要項は特に無いので、大学で評価を受けるための情報(担当セクションや必要書類)を事前に確認する必要がある。その後、大学へ評価に必要な書類を送って「入学したい専攻コースに入学(合格)できるレベルに達しているかどうか」を判定してもらう。

実施する教育機関

- 大学

▼ 応募方法 ▼

Step 1

大学にPreliminary evaluation/ Valutazione preventivaについて直接問い合わせる。

Step 2

Step 1で確認した担当セクションへ評価に必要な書類を送る。

Step 3

送付した書類で評価を受ける。

Step 4

「希望する専攻コースに入学できるレベルに達しており、入学試験が免除される」という内容の通知を受け取ったら、イタリア大学省の高等教育専用サイト「www.university.it」でオンライン登録をし、その年度の留学手続きに進んでください。*詳しくは78ページを参照。

この際、大学からの通知に加えて、イタリア大学省の規定を満たした「Letter of eligibility for enrollment/ Lettera di idoneità all'immatricolazione (Lettera di idoneità accademica)」を発行してもらう必要がある。

イタリアの大学、 ここがすごい!

イタリアらしい「学び」が体験できる
代表的な分野をご紹介します。

この分野の特徴

経済・経営学・財政学は、欧州最古のボローニャ大学をはじめイタリア各地の大学で学ぶことができます。国際的に評価が高いビジネス・スクールもあり、卒業生は国内のみならず、ヨーロッパの経済界でも広く活躍しています。

各大学が、英語で学べる学位取得コースにいち早く力を入れてきた分野であり、数多くのMBAが開講されています。

イタリア内外の企業と提携し、インターン研修も積極的に取り入れているほか、就職サポートはもちろん、起業をめざす方への支援等、世界の経済界へと羽ばたくためのバックアップも充実しています。

また、経営学への学際的アプローチとしてイタリアの誇る各分野(ファッション、食文化、美術、観光など)に特化したマネジメントの専科コースも人気です。特に、ものづくり、美食、インバウンドなどは、日本とイタリアに共通する分野であり、日本でも関心が高まっています。



©Università Cattolica del Sacro Cuore

Economy & Management

経済・経営

このコースに注目!

Fashion Culture and Management

企業成長に向けたブランディングを学び、ファッション、デザイン業界のコミュニケーション・コンサルタントをめざす。

Tourism Economics and Management

持続可能な観光、産官連携や地方活性化など、21世紀の観光キーワードに基づいたマネージメントを学ぶ。

Innovation and Organization of Culture and the Arts

舞台芸術、マクロ経済学、イベント制作、文化政策等、アート・マネージメントに関する様々な分野を体系的に修得。

Food Innovation & Management

消費トレンドを理解し、生産者・消費者・行政を見据えた革新的なソリューションを考える食のコンサルティングを学ぶ。

代表的な大学

ミラノ・ボッコニ大学

◆インターナショナル・ビジネス・スクールとして、国際的にも評価が高く各種ランキングでもトップを争う私立大学。

◆MBAなど修士課程はもちろん、学部から英語で学べるコースも充実。

◆ビジネスに特化した大学として、その分野における巨大な国際ネットワークを誇り、就職活動などにも有利。



©Università Commerciale Luigi Bocconi

ボローニャ大学

◆グローバルMBAは、イタリアならではの分野に特化したコースが特徴。

◆欧州経営開発財団(European Foundation of Management Development)より、国際的なビジネス・スクールとしてEPAS認証を獲得しています。

TOPICS

●ヨーロッパ19カ国で流通する共通通貨ユーロの金融政策を担う欧州中央銀行、その総裁を2019年10月まで務めていたのがイタリア出身のマリオ・ドラギ氏。ドラギ氏はイタリア国内でも、コーポレートガバナンスにかかわる法律の制定にも携わるなど国際的に活躍する経済学者。

●イタリアの小さな町や村に暮らすように滞在できるアルベルゴ・ディフーズは、休眠する部屋や建物を有効利用し、一元管理の下で観光客に貸すというビジネスモデル。少子高齢化の進む過疎地を活性化させると同時に、旅行者に唯一無二の体験を提供。イタリア発の、地域一体型の新しい観光事業として注目を集めています。

Fashion, Design & Architecture

ファッション、
デザイン、建築



©Istituto Marangoni

この分野の特徴

ファッション部門では、「ドルチェ&ガッバーナ」や「モスキーノ」など国際的なブランドの多くのデザイナーがイタリアの学校で学んでいます。センスと機能性の両立が求められるインテリア・デザインでもイタリアは高い評価を得ています。また、世界遺産数トップのイタリアでは、景観保護法により美しい街並みや風景の維持が義務付けられています。歴史的建造物や自然を保護しつつ現代に活かすイタリアの建築には、学ぶところが数多くあります。長い伝統を誇り、かつ常に革新的なアプローチを続けるこの分野には、バリエーションに富んだ学びの場があります。

学べる教育機関

◆美術学院(日本の美術大学に相当)

◆美術系専門学校(大学省認定の学位取得コースも)

◆工科大学

◆大学

このコースに注目!

Digital and Interaction Design

ウェブサイトやスマホから、家庭用・業務用のAIマシンまで、インタラクティブ・デザインの応用の場は拡大の一途。最新の技術の取得と活用をめざす。

Fashion Cultures and Technologies

企業成長に向けたブランディングや、ファッション、デザイン業界で必要とされる技術を学ぶ。

Fashion Editor - Styling and Communication

ファッション・ジャーナリスト、またはファッション・ブランドにおける広報に必要なものは何か、多角的な視点を身につける。

Theatrical Makeup Artists and Hair Stylists

映画、舞台向けのメーキャップ・アーティスト、ヘアスタイリストを育成する。

Fashion Law

デザインの盗用対策など、ファッション業界に特有の法律問題の専門家を育てる。

代表的な大学



©Politecnico di Milano

ミラノ工科大学をはじめ、ローマ・サピエンツァ大学、フィレンツェ大学などが人気。ヴェネツィア建築大学では都市計画、インテリア、工業デザインのほか、ファッションやヴィジュアル・アートまで広くカバーしており、イタ

リア全国はもとより、世界中の学生が集まっています。さらに、総合大学ではファッション・ジャーナリズムやマネージメント、持続可能な建築と環境デザインなど、より多角的にこの分野を学べるコースもあります。

TOPICS

●ミラノ・コレクションやピッティ・ウオモなどのファッション・イベント、国際家具見本市ミラノ・サローネやヴェネツィア建築ビエンナーレ等、イタリアは世界中のプロが集まる催しが目白押し。美術館や歴史遺産も身近にあり、文化芸術への高い意識が大きな刺激に。

●ヨーロッパにおける家具・インテリアの生産は、イタリアとドイツが毎年トップを競っているが、高級家具部門では、イタリアがダントツ。EU圏外への輸出も順調に増加。

●最先端技術とデザイン力の集大成、豪華ヨットの製造は、イタリアの十八番。世界の生産の約半分をイタリアが担っています。

Gastronomy & Food Science

エノガストロミー 食科学



©Università degli Studi di Bologna Gastronomiche

この分野の特徴

世界中で人気のイタリア料理やイタリアの「食」に関してさまざまな角度から学ぶことができます。一流のシェフを育てる料理学校のほか、ソムリエの資格を取るためのコースなど専門学校も多い分野ですが、「食」を科学的、社会的観点から学ぶ大学、大学院のコースも用意されています。イタリアならではのこの分野では、バリエーションに富んだ学びの場の中から、留学期間、学費、カリキュラム構成、職種など、目的によりご自身に合う留学先を選べます。美食は特別なものではなく、日常生活の中の「食」を第一に考えるのがイタリアの特徴です。「食」の急激なグローバル化に疑問を唱え、その土地本来の食材や食文化を見直そうというスローフード運動は、1986年にイタリアで誕生したものです。スローフード誕生の地に近いトリノでは、隔年で「サローネ・デル・グスト」が開催されます。イタリア中の伝統的な食材から最新の「食」までが一堂に会する見本市に、

世界中から「食」のプロが集合します。「食」が中心のお祭りやイベントが多いのもイタリアの魅力です。野菜や果物、きのこなどの収穫祭のほか、大学の町ペルージャがチョコレートの香りで満たされる「ユーロチョコレート」のようなイベントもあります。また、農家に宿泊し農業をプチ体験したり、農家の食事を味わうことのできるアグリツーリズムも人気です。レモン農家からワイナリーまで、イタリアのさまざまな「食」の現場を直接目にし、触れて、味わうことができるのが特徴です。イタリアの暮らしに根付いた食文化への高い意識は、留学生活に大きな刺激を与えます。学校の中だけではなく、数多くの食関連のイベントなどに訪れることで学びのチャンスを広げることができます。また、イベントに出席する世界各国の企業とプロに直接会えることで、次のステップに向けたネットワークもできるでしょう。

学べる教育機関

- ◆料理専門学校(主に料理人、ソムリエなど、食の現場に立つ)
- ◆大学(コンサルタント、食のエキスパートなど、マネジメント系)

代表的な大学

食科学大学

ピエモンテ州やエミリア・ロマーニャ州の協力の下、スローフード協会がガストロノミー分野での専門家養成を目的として2004年に設立した食科学大学は、まさに「食」に特化した大学です。「食」に関するテーマは、科学、文化、政治、経済、エコロジーと多岐にわたります。生産者から消費者まであらゆる立場から「食」について研究します。

ボローニャ大学

「食とワイン」を専門とするMBAコースがあります。食品・飲料業での起業と経営、国際化を手がける人材を育成します。

その他

- ◆ワインのためのぶどうの栽培から醸造までを、科学的に学ぶコースもあります。ミラノ、フィレンツェなどのほか、中小の町の大学にもあるのが特徴です。
- ◆工学部系では食品科学工学が中心ですが、近年は食化学に社会学や経営学的観点からのアプローチを取り入れて学ぶことのできる大学も増えてきました。ボルツァーノ、パルマ、ウディネの各大学は、相互のジョイントプログラムで、Food Sciences for Innovation and Authenticityを開講しています。



©Università degli Studi di Scienze Gastronomiche

TOPICS

- ワインやオリーブオイルをはじめ、穀物類、生鮮食品から、チョコレート、コーヒー、香辛料にいたるまで、イタリアはあらゆる食品を輸出しています。その額は2019年には約446億ユーロと前年比5.3%増*1、輸出先も米国、欧州、アジアと世界中に及びます。

*1 出典:isma

Music & Art

音楽、美術



©Università degli Studi di Milano La Statale

この分野の特徴

音楽、美術はイタリアの最も伝統的な分野と言えるでしょう。全国各地にある音楽院や美術学院などが、各分野のプロフェッショナルを養成しています。

Music 音楽

ミラノ・スカラ座をはじめイタリア各地に世界有数の劇場があります。オペラ公演やコンサートが定期的で開催されており、日常的に本場の生の演奏に触れることができます。音楽院では、耳の肥えた地元の音楽愛好家の人々に前に、学生が演奏を披露する機会も度々あります。コンクールやオーディションも豊富で、学生が参加できるものが多くあります。留学中にイタリアで、あるいはヨーロッパでデビューを果たすのも夢ではありません。フォルテ、ピアノ、ダ・カーボなど、音楽用語のほとんどがイタリア語です。実際にイタリアで生活し、イタリア語を習得することで、そうした「記号」が実のある「言葉」として実感できるようになるでしょう。400年前にイタリアで誕生したオペラ、その中で歌われているイタリア語は、いまでも普通に使われている言葉です。イタリアに留学し、イタリア語を自分の言葉とすることで、歌唱力や技術に加え、より自然な表現力を得ることができます。

Art 美術

古代ギリシア、ローマ遺跡から、ロマネスク建築、ルネサンス美術にバロック、そしてモダン・アートまで。数千年にわたる美術や建築の歴史そのものが目の前にあります。イタリアの無数の美術・歴史遺産は古くから、世界中の芸術家を魅了し、インスピレーションを与えてきました。世界最古・最大の現代アートの祭典、ヴェネツィア・ビエンナーレは1895年に創設されました。イタリア語で「2年ごと、隔年」を意味する「ビエンナーレ」が今では現代アートの展覧会の代名詞として、世界共通語となっています。ミラノ・トリエンナーレは、「3年ごと」の開催。デザイン、建築関連の展覧会として毎回注目を集めています。いずれも、学生向けのプログラムも多く用意され、積極的な参加が求められているので、留学中に「ビエンナーレ」・「トリエンナーレ」出展作家になる可能性も十分にあります。

学べる教育機関

- ◆音楽や美術では、芸術系高等教育機関としてイタリア大学省AFAMが管轄する国立音楽院や国立美術学院などがあります。
- ◆工科大学や建築大学、美術系専門学校でも、一部の美術系分野を学ぶことができます。
- ◆総合大学では人文学科系分野として美術史や音楽史などのほか、美術・音楽・演劇等を学術面から多角的に学ぶ総合芸術学科(DAMS)も設けられています。

この他、経済学部に含まれるアートマネジメントも芸術遺産を多く所有するイタリアで人気があります。

※国立音楽院や国立美術学院については、50~53ページを参照下さい。



©Università degli Studi di Genova

Engineering 工学

この分野の特徴

レオナルド・ダ・ヴィンチは15世紀末、鳥のように翼を羽ばたかせて飛ぶ飛行機の原案を描いていました。自然や動物、人間を徹底的に観察し、ほかにも無数の機械の設計図や、アイデアを残したダ・ヴィンチは、ルネサンスを代表する芸術家であるだけでなく、多才な科学者でもありました。



©Università degli Studi di Genova



©Massimo Pistore - Università di Padova

その歴史を引き継ぐように、イタリアの製造業は確固たる自信の上に立っています。自動車、バイクからヨット、航空機まで、イタリアの工業製品は、物作りの伝統と意匠へのこだわりから生まれます。

例えば、大型豪華ヨット製造では、世界の市場で不動のトップを誇ります。市場の約4割を占めるこの部門は、高い技術力とデザイン力の結晶であり、まさにイタリアが得意とするところ です。

宇宙工学分野では、イタリアは1975年の欧州宇宙機関 (ESA) 設立時からのメンバーであり、ヨーロッパの中でもリーダー的存在です。開発、研究、構想から製造まで、各部門で重要な役割を果たしてきました。日本のほか、アメリカ、ロシア、中国など国際協力も積極的に進めています。

最先端工学部門は、大学レベルでも国境を越えた提携や共同研究が多いのも特徴です。英語で学べるコースも豊富で、総合大学のほか、工科大学でも学べます。

このコースに注目!

Automation Engineering

日常のさまざまなシーンの自動化を図る技術、オートメーション・エンジニアリングについて学ぶ。

Aerospace Engineering

航空宇宙に関わる、基礎工学から産業工学までを学び、開発センターの専門家をめざす。

Biomedical Engineering

生体電子工学、生理学、さらに医療機器やデータ処理などを学ぶ。研究職を続けるほか、医療機器メーカー等へ就職する卒業生も多い。

Naval Engineering/Yacht Design

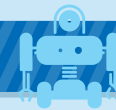
イタリアならではの船舶工学。ヨットなど船舶の設計のプロをめざす。

Environmental Engineering / Sustainable Building Engineering

地球レベルから身近な生活まで、人類を取り囲むさまざまな環境を学ぶ環境工学や、持続可能な建築に特化したコースも。

TOPICS

ミクロからコスモ(宇宙)まで 知られざるイタリア工学のなるほど!



産業をリードする工学

「メイド・イン・イタリア」は、ファッションやデザイン分野だけではなく、**機械製造もイタリアの得意とする分野のひとつ**です。イタリアは、機械輸出部門で世界第4位*1。過去20年間における国際的経済危機や、新興国台頭の中で、安定した輸出額を保っています。

ロボットの輸出額は、日本、ドイツに次いでイタリアが世界第3位*2。韓国や中国、米国など競合を抑え健闘しています。その強みの源は、官民一体の研究、生産体制です。

フィアットのお膝元、トリノにある**自動車博物館**のほか、フェラーリやドゥカティ、カプローニなど**各社の博物館**も充実しています。歴史的遺産に直接ふれて刺激を受ける、イタリアの魅力はここでも同じです。ポーランドの**モーターショー**、ジェノヴァの**船舶ショー**をはじめ、世界中から関係者の集まる**見本市**が1年を通して各地で開催されています。国際的なイベントにもアクセスが容易です。

国際レベルでイタリアが急成長を遂げている部門に、**建設業**があります。国内需要が伸び悩む中、イタリアの企業は国境を越えて市場を開拓してきました。国外ビジネスは2004年から13年連続増加、平均9.3%の伸びを見せ、2017年には174億ユーロに達しています。その対象は92カ国、811件に及びます*3。

宇宙工学



ASI(イタリア宇宙機関)は、イタリアの宇宙活動の促進、実施のために1988年に設立されました。これは大学技術研究省の監督下にあり、**宇宙工学分野の開発、研究は、各大学との連携の下に進められています**。ASIはローマ本部のほか、イタリア南部、洞窟住宅群で知られるマテラに宇宙測地センター、またシチリア島東端の町トラパニに成層圏気象観測気球基地があります。

ESA(欧州宇宙機関)の持つヴェガ・ロケットは、イタリア**ASIが開発**しました。機体やロケット・エンジンの製造はイタリアの**アヴィオ株式会社**が担っています。

イタリアはヨーロッパの中でもいち早く宇宙工学研究に取り組んできました。1959年にイタリアの物理学者エドアルド・アマルディ氏が欧州における共同開発を提案、現在のESA設立へ向けた大きな第一歩となりました。

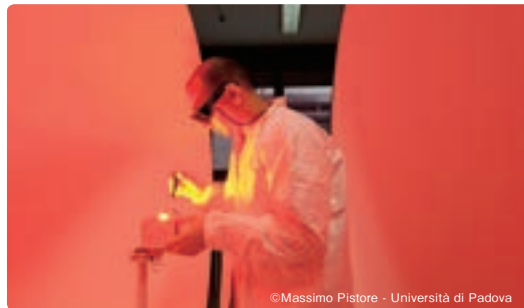
「レオナルド」、「ラファエロ」、「ドナテッロ」。スペースシャトルのミッションで、宇宙ステーションに積荷を受け渡す役割を担うMPLM(多目的補給モジュール)は、イタリアのASIが開発、建造しています。代々、**イタリアが誇る芸術家の名前**がつけられているのは、そのためです。

イタリアで初めて実用航空機を製造した**ジャンニ・カプローニ氏**は、宮崎駿監督の映画「風立ちぬ」で、日本の技術者・堀越二郎の夢の中に登場します。これはカプローニの人と仕事に惚れ込んだ宮崎監督によるオマージュであることを、監督自身が明かしています。さらに、**「ジブリ」の社名はもとも、カプローニ氏が製造した飛行機の名前に由来**しています。

*1 出典:UCIMU *2 出典:IFR *3 出典:RAPPORTO 2018, ANCE

Science & Physics

科学、物理



©Massimo Pistore - Università di Padova

この分野の特徴

「それでも地球は回っている」。ローマ教皇庁より異端として弾劾されてもなお、地動説を唱え続けたガリレオ・ガリレイは、1564年、当時のフィレンツェ公国の港湾都市、ピサに生まれ、ピサ大学で医学などを学んだのち、パドヴァ大学で教鞭を執りました。実験を重ね、分析する手法が現代の自然科学の基礎を作ったとして「科学の父」、また、木星の衛星を発見したことなどから、「天文学の父」とも呼ばれています。2018年、イタリアは科学論文の発表件数で世界第8位*1となり、またヨーロッパ連合内でみると、ドイツに次いで2位。

2000年以降、中国やインドが台頭し、日本やフランスが大きく水をあけられる中、イタリアは常に安定した力を見せています。スイス・フランス国境にある欧州原子核研究機構 CERNに勤める研究者の15%がイタリア出身であるなど、イタリアの大学で学んだのち、世界の主要な研究所や企業に就職する研究者も多くいます。女性の活躍が多いのも特徴です。理系学科は、基礎研究部門でも英語で学べるコースが豊富です。

このコースに注目!

Forest Science / Maritime Science and Technology

森林(または海洋)および天然資源の管理・保護について、技術的かつ世界的な視点から学ぶ。

Astrophysics and Cosmology

宇宙論や重力物理学などを含む天体物理学、天文学まで最新の研究の理解を深める。

Field and Natural Resources Geology

現在地球が直面する問題点、あるいはエネルギー資源、火山活動と地殻変動など、日本でも話題となっている課題の解決策を研究する。

Artificial Intelligence / Computer Science

AI(人工知能)の研究、開発、発展から応用までコンピューターによる情報処理システムを理論から実践まで扱う。

TOPICS

欧州原子核研究機構 CERN で女性として初めて所長に就任したファビオラ・ジャンノッティ氏はイタリア人です。ミラノ大学で素粒子物理学の博士課程を修め、1994年に研究者として CERN に入所。2016年1月1日に所長に任命され、現在に至っています。専門分野での数々の受賞のほか、2011年、英ガーディアン紙の「世界で最も影響力のある女性トップ100」にも選ばれています。

イタリア政府は2019年、新しい技術の研究開発を行う企業をバックアップする制度を導入しました。これは、企業に経済的支援を行うことで、その企業や提携先の大学等で、若い研究者がより自由に多角的な活動ができるようサポートするものです。テクノロジー分野におけるイタリア全体のポトムアップを目的としています。

*1 出典: National Science Foundation / Database Scopus

Chemistry, Biology & Pharmacy

化学、生物学、薬学



©Università degli Studi di Genova

この分野の特徴

生命や宇宙に存在する物質の神秘に迫るこの分野は、イタリアでは古くより重要な研究対象のひとつでした。現在は、内外の機関との共同研究も多く、最先端の技術や研究を学ぶことができます。バイオ薬学から先進のセラピーまで、薬学研究の目的は、治療に留まりません。疾病の予防、美容、よりよい健康の維持と、その目的はさまざまです。医学はもちろん、農学、食科学、精神衛生学など、学際的な科目も多い分野です。世界的にも、この分野におけるイタリアの重要性は年を追うごとに増えています。化学・製薬関連製品の輸出が大きく伸びていることがその何よりの証拠です。内外からの投資も積極的に行われています。

このコースに注目!

Genomics

遺伝子とゲノムについて学ぶコース。医学、薬学から食科学まで、幅広い応用が期待される。

Drug Design and Synthesis

創薬の専門家を育てるために創設された。大学により、英語で学べるコースも。

Science for the Conservation-Restoration of Cultural Heritage

美術作品や建造物の修復士を育成するコース。さまざまな技法や材料について、またその作品の持つ背景や環境も学びつつ、実務を修得する。

Sustainable Agriculture for Food Quality and Environment

質の高い食料と環境のための持続可能な、21世紀の農業の最先端を学ぶ。

Advanced Cosmetic Sciences

コスメ関連製品の研究、製造、試験、管理の原理、手法について、生化学、バイオ化学、毒物学等、多角的観点から学ぶ。

Low Carbon Technologies and Sustainable Chemistry

温暖化緩和のための低炭素化などサステイナブルな社会を実現するための研究を行う。

TOPICS

製薬部門は、イタリアの製造業の中でも近年で最も大きな伸びを見せている分野です。生産高は年間340億ユーロでヨーロッパ随一、うち326億ユーロを輸出しています。*1企業と大学との共同研究がさかんな部門であり、イタリア内外から積極的に投資が行われている上、各企業も人材獲得に力を入れています。イタリアで今、最も元気な分野のひとつです。

パドヴァ大学付属植物園は、1545年薬草学の研究のために大学近くに創設されました。いまでもなお大学の研究施設として存続する植物園は、ユネスコ世界遺産の指定も受けています。誰でも自由に入出入りできるため、市民の憩いの場になっているほか、観光スポットのひとつにもなっています。

*1 出典: Farindustria

Medicine and Surgery

医学



この分野の特徴

近現代医学の基礎として欠かせない人体解剖は、1315年に医師で学者のモンディーノ・デ・ルツィが、ボローニャ大学にて公開で実施しました。当初は検死が目的でしたが、すぐに医学の研究と教育に不可欠なものとして重要性が認められ、翌年デ・ルツィにより出版された『解剖学』は、長年に渡り教科書として医学生たちに使われてきました。

700年もの医学部の歴史を誇るイタリアの大学は、伝統と最新の技術の双方を兼ね備えた世界随一の学びの場です。

さらに、イタリアでは2009年より、英語によるインターナショナル・メディカル・コースとして学位取得コースが設けられています。国公立の教育機関ならではのリーズナブルな学費も魅力的で、注目を集めています。

現在は、13の国公立の大学がインターナショナル・メディカル・コースを開設しており、毎年多くの外国人留学生を受け入れています。

国公立大学

- ◆Bari
- ◆Bologna
- ◆Campania Luigi Vanvitelli
- ◆Messina
- ◆Milano
- ◆Milano Bicocca
- ◆Napoli Federico II

- ◆Padova
- ◆Pavia
- ◆Roma Sapienza
- ◆Roma Tor Vergata
- ◆Siena
- ◆Torino

ほかに私立大学でも英語で医学を学べるコースを設置しているところがあります。獣医学を英語で学べるコースを用意している大学もあります。

選ばれるポイント

インターナショナルな学びの場

イタリア内外から招いたエキスパートの教授陣、世界中から集まった学生たちと国際的な環境で学べます。イタリアのみならず世界各地の医学の教授法に触れ、様々な医学事情についての情報を得ると同時に、広いネットワークをよりたやすく構築できます。

理論から実践へ、学部から研修あり

イタリアの大学医学部は、その内容、手法とも最新の技術を取り入れています。理論を学ぶとともに、実習、研修、セミナーなども積極的に取り入れ、より実践の場に近いところで学位を取得していきます。学部の早い段階から、研究室や大学付属総合病院、提携先での実地研修が行われます。

国公立ならではの安い学費も魅力

国公立の大学は教育の質が高い上、学費が低く設定されているのが魅力です。これはイタリアの教育の機会均等の理念に基づいているためです。英米圏に比べ、年間の学費は桁違いの20万円前後に抑えられます!

EUで有効な医師免許

イタリアで得た医師免許は、ヨーロッパ27カ国で有効です。イタリアで卒業したのちは、インターナショナルな活躍の場が目の前に広がります。

効率のよい少数精鋭教育

インターナショナル・メディカル・コースは、登録人数を絞っており、少数精鋭型の教育を実施しています。

*医学部に入学するためにはIMAT (International Medical Admission Test) に登録手続きを済ませ、試験に合格する必要があります。詳しくは80ページをご参照下さい。

Pedagogy

教育学



この分野の特徴

政財界からIT部門、芸術家まで、世界中で活躍する著名人を数多く輩出していることで知られるモンテッソーリ教育は、20世紀の初めにローマで、医者であり教育者であったマリア・モンテッソーリ氏が提唱しました。それから約60年ののち、子どもも親も先生もみな平等という考え方の下、子どもたちの個性と自主性を最大限に生かす幼児教育「レッジョ・エミリア・アプローチ」がイタリア北部レッジョ・エミリア市で生まれ、今世界中で注目を集めています。

モンテッソーリ教育とは?

大人が一方向的に教えるのではなく、子どもたちが自発的に学び、発達できるように、好ましい環境の中で導くという教育法は、マリア・モンテッソーリ氏の提唱後すぐに欧州およびアメリカでブームを巻き起こしました。それから100年以上たった今でもその手法は有効とされ、世界130以上の国で採用されています。その哲学の基本は、「子どもには、自分を育てる力が備わっている」という「自己教育力」です。自由を保障し適切な環境を整えることで、子どもたちは自発的に学び、成長することができる。「自立し、有能で、責任感と他人への思いやりがあり、生涯学び続ける姿勢を持った人間を育てる」ことを目的としたモンテッソーリ教育は、欧米で広く普及しています。日本には1960年代に上陸、以来、全国にモンテッソーリ

教育を取り入れた幼稚園があります。中学2年生で最年少プロ昇格記録を達成した棋士の藤井聡太氏は、幼少時にモンテッソーリ教育を受けていたことでも注目を集めました。日本では現在、教育の自由化が行われていないため、モンテッソーリ教育の導入は就学前の乳幼児までに限られています。欧米では、小学校から大学まで一貫した教育を提供している機関もあります。グーグルの共同創業者セルゲイ・ブリン氏とラリー・ページ氏、ウィキペディアのジミー・ウェルズ氏、経営学者のピーター・ドラッカー氏、前米大統領のバラク・オバマ氏など、国際的に活躍する人材の多くがモンテッソーリ教育を受けてきたことが知られています。



レッジョ・エミリア・アプローチとは?

子どもは、発達する強い能力と、個人として権利を有する「人」であり、それは他者との関わりの中において獲得し、育っていくものとする教育哲学です。この教育プロジェクトは、教育者で学校心理学者であるローリス・マラグッツィ氏が提唱し、1963年からレッジョ・エミリア市の幼稚園や保育園で実践されてきました。

子どもたちは「100のことば」を持って生まれます。アトリエ・スペースでは、子どもたちがいつでも、さまざまな材料、いろいろなことば、多様な視点に触れ、手と頭と感情を同時に働かせることで、子ども一人一人、あるいはグループの中で各々の、表現力や創造力を引き出します。保育所では、各教室にそれぞれ2人保育士がいるほか、ベタゴジスタとよばれる教育学の専門家と、アトリエスタとよばれる芸術専門家が配置されています。マラグッツィ氏のアイディアは、レッジョ・エミリア市や多くの協力者により実現、実施されてきました。この教育哲学が、提唱者の名前だけでなく、「レッジョ・エミリア・アプローチ」とよばれているのも、このシステムの特徴といえます。



特徴は、家族の参加、すべての人の協力、教育環境の重要性、「アトリエ」と「アトリエスタ」の存在、園内キッチンが存在、教育、教育法の専門家との連携にあります。

©Oksana Kuzmina - Adobe Stock

Scuole di eccellenza
**スクオレ・ディ・
エッチェッレンツァ**

この分野の特徴

イタリアには、スクオレ・ディ・エッチェッレンツァとよばれる、いわゆるエリート養成機関の大学院大学があります。もともとは、博士課程およびそれ以降の研究者のための専門大学でしたが、現在は、学部から設置されている大学もあります。一般の大学に比べよりインターディシプリナリーな科目が多いのも特徴です。また、他の研究機関と密接に連携を行っているので、一般の大学以上に研究の現場と直接の交流があります。スクオレ・ディ・エッチェッレンツァのクオリティを示すものは、ここで学ぶ学生たちそのものです。厳しい入学試験を突破し狭き門をくぐり抜けてきた学生たちには、少数精鋭型で真のエリート教育の場が用意されています。また、他大学、国や地方自治体の研究所との交流や共同研究も積極的に行われており、外国人留学生も多く受け入れています。さらにトップレベルでの国際的な大学間のネットワークは、さらなる飛躍への鍵となるでしょう。



入学試験に合格すると、寮や食事も提供されるなど、経済的にも優遇されており、奨学金制度も充実しています。

12のスクオレ・ディ・エッチェッレンツァ

- ◆Scuola Normale Superiore di Pisa
- ◆Scuola Superiore Sant'Anna di Pisa
- ◆Scuola Superiore IUSS di Pavia
- ◆Scuola Galileiana di Studi Superiori di Padova
- ◆Scuola Superiore di Udine
- ◆Collegio Santa Chiara di Siena
- ◆Scuola Superiore ISUFI di Lecce
- ◆Scuola IMT Alti Studi di Lucca
- ◆SISSA di Trieste
- ◆Alta Scuola Politecnica di Milano e Torino
- ◆Collegio Superiore di Bologna
- ◆Scuola Superiore di Catania

TOPICS

スクオラ・ノルマレ・スーペリオーレ・ディ・ピサ(ピサ高等師範学校)は、フランスのグランゼコール同様、最も優秀な学生のための専門研究機関として、1810年にナポレオンにより設立されました。当初は文学と自然科学のみでピサ大学の附属組織でしたが、1932年に独立、ほかの学部も追加されました。

1999年創立と比較的新しいISUFI di Lecceでは、イタリア各地の大学との連携の下、経済や理工系など実務に強く、かつ国際的に活躍できる学生の育成をめざしています。米ボストンのマサチューセッツ工科大学、ハーバード大学、バークレイ大学、コロンビア大学などとの共同研究を行っています。

+αの
学び

語学留学

目的やニーズに応じた多くの選択肢が魅力

イタリアには全国各地に多くの語学学校があります。そのため、目的やニーズに応じた地域、学校、コースの選択が可能です。また、イタリア語だけでなく歴史やアート、料理といったイタリア文化も学ぶことでより充実した留学経験にすることができます。



全国各地400校以上の語学学校から
自分に合った学校を見つけよう！

語学学校は
大きく分けて
3タイプ

外国人向けに
イタリア語の専門教育を
行っている大学

大学の
付属コース

私立の
語学学校

詳しくは36ページ
『3タイプの語学学校』へ

どこで学ぶ？

- 彩り豊かな20州から自分の好きなイタリアを選ぼう！
- 都市部では多彩なイベントに参加の機会も。
- 地方の小さな街で自然に触れながらゆったりした時間を。
- 地域の特徴(自然、文化、歴史、産業など)にも注目して選択しよう！

充実した留学生活を送るには？



POINT 1 語学だけじゃもったいない！
イタリア語+αを経験

イタリアに滞在するのならば、語学を学ぶだけでなく、イタリアならではの文化を体験するというイタリア語+αの留学を選ぶ人が増えています。料理やファッション、オペラ、ジュエリーなどの本場の体験を通じて、イタリア文化をより深く理解することができます。



POINT 2 それぞれの顔をもつ
都市の違いを楽しむ

20の州や各都市は、それぞれ異なる独特の表情を見せてくれます。北から南まで旅すると、その土地の風景や文化、人柄など地域ならではの魅力を発見できるはず。たとえば最初の2週間は都会的なミラノに、残りはシチリアの小さな港町で過ごすといったプランも。



POINT 3 長期留学へのステップに

大学などの高等教育機関への留学を考えている人は、語学力アップのためだけでなく長期留学の下準備や志望大学、生活環境の確認のために語学留学を活用することもできます。実際に長期留学前に語学留学をしてよかったと語る経験者が多くいます。

目的や留学時期、年齢などに合わせた多彩なコース

一般イタリア語コース

「読む・聞く・書く・話す」の4つのスキルをバランス良く上達させ、コミュニケーション能力を向上させます。

イタリア文化コース

イタリアの歴史・文学・音楽・美術・演劇・映画・料理・ワイン・オリーブオイルなどをテーマ別に学ぶコース。

イタリア語検定試験準備コース

外国語としてのイタリア語のコミュニケーション能力を証明する「イタリア語検定試験」のための準備コース。

職業専門イタリア語コース

特定の職業分野で使用されるイタリア語の専門用語を習得するコース。

大学入学準備コース

学位取得コースで学ぶためのイタリア語準備コース。医学、建築、法学などの分野に特化したコースも。

イタリア語教師コース

現在イタリア語を教えている人、あるいは将来イタリア語を教えたい人を対象とした「イタリア語教授法」を学ぶコース。

ビジネスイタリア語コース

ビジネスの現場で使える実践的なイタリア語を身につけます。

バカンスコース

イタリア語にスポーツや観光など、さまざまなレクリエーションを組み合わせたプログラム。夏期に多い。

個人レッスン

レベルや目的に応じて、希望する期間だけ学ぶことができます。

ジュニアサマーコース

ジュニアを対象とした、夏期にバカンスを楽しみながらイタリア語を学ぶコース。

シニアコース

シニア世代(50歳以上)を対象に、同世代の人たちとイタリア語や文化を学ぶコース。

詳しくはWEBサイトへ studyinitaly.jp/style/language/

イタリア語学留学までの

モデルプラン

STEP 1

1年~3、4カ月前

プランニングと情報収集

- イタリア文化会館のウェブサイト(studyinitaly.jp)などで情報収集をする。また、イタリア文化会館内にある留学コーナーでは、語学学校のパンフレットが入手できる。
- 11月にイタリア文化会館で行われるイタリア外務・国際協力省主催「イタリア留学フェア」や、独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)などが実施する留学イベントに参加する。

STEP 2

3カ月前

学校の選択

- 各学校のウェブサイトなどで情報収集をする。なお、学校へは英語での問い合わせが可能。一部の学校では日本語のウェブサイトが用意されていたり、日本語での質問にも対応している。
- 学校の特色、場所、希望するコース、コース期間、環境、費用などを考えて留学先を選択する。

STEP 3

入学手続き

- 学校に入学手続きをする。ほとんどの学校がウェブサイト上で、入学申請書の入手や入学申請を受け付けている。
- 学校のガイダンスに従って、授業料をクレジットカードもしくは送金で支払う。

STEP 4

滞在施設の申し込み

- 大部分の学校が留学生の滞在施設の手配を行っている。学校のガイダンスに沿って、滞在先の申し込みをする。

STEP 5

ビザの取得と渡航準備

- 語学留学の場合、イタリアでの滞在が90日以上になる際は「就学ビザ」が必要となる。詳しい情報はイタリア大使館(在大阪イタリア総領事館)に確認し、必要な人は申請する(連絡先は82ページを参照)。
- 「就学ビザ」取得の際に、指定の留學生保険のタイプがあるので注意。
- 航空券の手配をする。

3タイプの語学学校

外国人へのイタリア語の専門教育を行う大学	<ul style="list-style-type: none"> ●イタリア語を母国語としない人へのイタリア語教育を専門に行っている大学で、通年でイタリア語・イタリア文化コースが開講されています。月単位制で、コースごとに1~3ヵ月で区分され、開始日と終了日が設定されています。コースを修了し、修了時の試験に合格すると、語学能力証明書が発行されます。一定レベル以上の合格証明書を取得していると、イタリアの大学入学時のイタリア語試験が免除されます。 ●受講期間中は、大学の施設や食堂が利用できます。
大学付属のイタリア語・イタリア文化コース	<ul style="list-style-type: none"> ●大学に付属する機関が開講するイタリア語・イタリア文化コースです。 ●開講期間が通年、あるいは夏期のみなど、大学によって異なります。 ●大学によっては、大学の外にある特別な施設でコースを開講していることがあります。
私立の語学学校	<ul style="list-style-type: none"> ●小規模から大規模まで、さまざまな学校がイタリア各地にあります。 ●ほとんどの学校が少人数制のグループレッスンの形式をとっています。週単位もしくは月単位制で開始日と終了日を設定していますが、入学時期と受講期間は学生が選択できます。 ●多岐にわたるコースが通年で開講されており、目的やニーズに合わせた選択ができます。 ●イタリア語のコースは、イタリア文化・特別コース(歴史、社会、文学、美術、音楽、料理、ワイン、オリーブオイルなど)と組み合わせることができます。 ●その地域に特化した多彩なアクティビティが用意され、自然に親しんだり、伝統工芸の工房、ワイナリー、美術館を訪問したりするなど、貴重な体験が得られます。

語学留学 留学準備

授業料	学校の種類やコース、期間などによって異なりますが、一般的なグループレッスン(約10名)は20時間/週で約2~3万円です。ただし、授業時間数や個人レッスン、コースの専門性などによって授業料が変わってきます。
健康保険	日本で就学ビザを取得する段階で、滞在期間をカバーする旅行傷害保険に加入しなければなりません。
年齢	イタリアの多くの語学学校では、ジュニア向けのコースを除いて、一般の語学コースは18歳以上が対象となっています。
開講期間	ほとんどの学校が年間を通して開講していますが、12月(クリスマス前後)から1月初旬までは、年末年始休暇のため休校している場合が多いので注意してください。学校によって、冬期は開講しないところもあります。

生活費 住居費、食費、衣類、娯楽を含む	生活スタイルや住む都市・地域によって異なりますが、1ヵ月にかかる生活費の目安は約10~13万円です。ミラノやローマなどの物価は東京と同じくらいですが、地方では比較的生活費を抑えられます。
奨学金	それぞれの語学学校が独自の奨学金制度を設けています。詳しい情報は、語学学校に直接問い合わせてください。
ビザ	語学学校への留学で、イタリアの滞在が90日を越える場合には「就学ビザ」が必要となります。詳しい情報は、イタリア大使館(在大阪イタリア総領事館)に確認してください(連絡先は82ページを参照)。
滞在方法	私立の語学学校の場合、ホームステイやアパート、ホテルなどがあり、大学または大学付属の語学学校の場合、大学寮や大学が紹介してくれる施設の利用が可能です(詳しくは13ページを参照)。

Check! 学校紹介

本誌の62ページから、イタリアの語学学校の紹介をしています。また、毎年11月にイタリア文化会館で行われる「イタリア留学フェア」にも多数の語学学校が参加していますので、学校関係者と直接相談し、情報を得ることができます。

WEBでリサーチ! 語学留学情報

イタリア留学総合案内WEBサイト

Study in Italy

studyitaly.jp

1週間からOK *1Week*
プチ留学

仕事や学校を長く休むのはムリだけど、イタリア留学を体験してみたい。そんな人には1週間のプチ留学がおすすめです。語学力を短期間で高め、ホストファミリーのもとでイタリアの暮らしにふれ、空いた時間をつかって観光も。普通のツアーでは味わえない体験が待っています。



フィレンツェプチ留学を体験したAさんの場合

授業はすべてイタリア語 会話中心の少人数レッスン

月曜から金曜日までの5日間、文法と会話をみっちり学びました。1クラス10名ほどの少人数制で、授業はとにかく会話重視。母国語はもちろん、英語もNG。電子辞書も使えず、わからないことは、何度でも手をあげて質問し、授業についていきました。夜はホームステイ先で勉強。宿題、授業で聞き取れなかった単語のチェック、復習と予習です。



日曜は、近くに住む息子と娘さんの家族が集まって食事をするのが習慣。

こんな人におすすめ!

- 短期間で集中的に語学を習得したい人
- イタリア人の家庭の暮らしを体験したい人
- 今まで勉強してきた語学力を試したい人
- 語学習得はもちろん、プラスαのアクティビティも求めている人



いろいろな国からやってきた留学生がクラスメートに。日本人も1クラスに2~3人いましたよ。

あたたかく迎えてくれたホストファミリー

私のホストファミリーは、年金生活をされているご夫婦でした。夕食はいつもマンマがイタリア家庭料理をふるまってくれました。イタリアに家族ができた気分。マンマの手料理おいしかったな。

語学の学びだけじゃない、プラスαのイタリア体験

平日の午後は、授業が終わったあとの時間を利用して、イタリアを満喫しました。たとえば、学校に「料理を学びたい」とリクエストしたら、自宅でイタリア料理を教えている先生のプログラムを紹介してくれました。作ったのは、手打ちパスタとメインディッシュとドルチェ。ワインを飲みながらの楽しいイタリア料理体験でした。学校の先生の案内で、フィレンツェの街を散策。先生の丁寧な説明を聞きながら、ミケランジェロ広場や古代遺跡などを歩いて巡りました。



違うクラスの人とも友達に。

他にもこんな体験プログラムがありました。

- ◆モザイク制作(1~2日)
- ◆マーブル紙(1日)
- ◆バッグ制作(3日)
- ◆料理教室(1日)
- ◆映画上映会
- ◆先生の解説で町の歴史名所を散策()は体験に要する日数

WEEKENDのアクティビティ

週末は、フィレンツェ近郊へ日帰り旅行に

丘の上の街を散策。写真もいっぱい撮りました。

国際性を養う

高校留学

若い感性でイタリア文化を吸収しよう

高校生という感受性の豊かな時期にイタリアに留学するのは、将来に向けての大きな財産となります。ヨーロッパの中でも歴史が長く、街を歩けば歴史的建造物や芸術作品などに出会えるイタリアへの留学は、大きな刺激を与えてくれるでしょう。高校留学によって、イタリア語はもちろん英語も勉強でき、貴重な異文化体験や自国への関心を深めるなど、さまざまな経験を積むことで、国際感覚や人間性も養われます。

■ 交換留学プログラムに参加しよう!

日本人の高校生がイタリアの高校に留学する場合、個人での手続きが難しいため、「交換留学プログラム」を実施している団体を通じて留学することになります。交換留学プログラムは、「イタリア人の一般家庭にホームステイをしながら、地域の高校に一学年間通う」というプログラムです。イタリアで生活していく中で、ホストファミリーや学校の先生、クラスメイト、地域の人々と交流し、異文化を体験するだけでなく日本の文化を紹介するなど、さまざまな形での交流が図れます。「交換留学プログラム」を実施している団体については、右記を参照してください。

高校留学についての総合情報

高校留学についての総合情報

- 独立行政法人日本学生支援機構 (JASSO)
[Web](http://www.jasso.go.jp) www.jasso.go.jp

イタリア交換留学プログラム実施団体

- 公益財団法人AFS日本協会
[Web](http://www.afs.or.jp) www.afs.or.jp
- 一般社団法人WYS教育交流日本協会
[Web](http://www.wys.gr.jp) www.wys.gr.jp

■ 高校留学 留学準備

授業料

それぞれの団体の「交換留学プログラム」で確認してください。

健康保険

日本で就学ビザを取得する段階で、滞在期間をカバーする旅行傷害保険に加入しなければなりません。

生活費

住居費、食費、衣類、娯楽を含む

生活スタイルや住む都市・地域によって異なりますが、1ヵ月にかかる生活費の目安は約10～13万円です。ミラノやローマなどの物価は東京と同じくらいですが、地方では比較的生活費を抑えられます。



! 高校に留学する際の注意点

交換留学プログラムでは、イタリアの高校の卒業はできません。また、政府の規定によって、高校留学後にイタリアに滞在し、イタリアの大学に入学することはできません。イタリアの高校は9月に始まり、翌年の6月に一学年が終了します。留学生活の中でイタリア語を少しずつ学んでいくこととなりますが、留学当初はホストファミリーなどと英語でコミュニケーションをとる必要があります。

交換留学の制度に基づき、留学先の高校で履修した単位が日本の在籍校で認定される場合は「留学・進級扱い」となり、帰国後に進級することが可能です。しかし、留学先の単位が認定されない場合は「休学・留年扱い」となり、出発時と同じ学年に戻るようになります。留学前に、交換留学プログラム実施団体や在籍する日本の高校に確認しましょう。

Q & A よくある質問

Q. イタリアの教育制度について教えてください

A. イタリアの教育はイタリア教育大学研究省が管轄し、日本と同様に初等・中等・高等教育に分かれています。

初等教育	初等学校	日本の小学校に相当する。6～11歳まで、修業年限は5年。
中等教育	中等教育第一課程	日本の中学校に相当。11～14歳まで、修業年限は3年。
	中等教育第二課程	日本の高等学校に相当。普通高校は14～19歳まで、修業年限は5年。このほかに芸術高校、技術高校、職業技術専門学校などがあり、修業年限は学校によって3～5年となる。
高等教育	大学・大学院	イタリアの大学は3年課程のCorso di Laurea、その後2年課程のCorso di Laurea Magistrale non a ciclo unico、これらが一貫したCorso di Laurea Magistrale a ciclo unicoがある。このほか、大学院に専門・研究のコースがある。また、専門的な高等技術教育機関がある。



イタリア高校留学までの

モデルプラン

STEP 1
2年～1年前

プランニングと情報収集

- 11月にイタリア文化会館で行われるイタリア外務・国際協力省主催「イタリア留学フェア」や、独立行政法人日本学生支援機構 (JASSO) などが実施する留学イベントに参加する。
- イタリア文化会館のウェブサイト (studyinitaly.jp) などで情報収集をする。
- イタリア語の勉強をする。

STEP 2
1年前

交換留学プログラムの選択

- 交換留学プログラムを実施している団体の資料を請求し、内容をよく確認して、自分に合った交換留学プログラムを選ぶ。
- 出願手続きにパスポートが必要になるので、必ず取得しておく。

STEP 3

交換留学プログラムに応募

- 交換留学プログラムに応募する (選考試験がある場合は受験する)。
- 交換留学プログラムへの参加が決定的ら、実施団体の指示に従って、必要な留学手続きをする。
- 実施団体の留学前オリエンテーションや説明会に参加して、留学準備をする。

STEP 4

ビザの取得と渡航準備

- イタリア大使館 (在大阪イタリア総領事館) でビザを申請する。ビザ取得の際に、指定の留學生保険のタイプがあるので注意。(連絡先は82ページを参照)
- 航空券の手配をする。

語学留学

高校留学

大学・大学院留学

音楽院留学

美術学院留学

インターンシップ
専門学校留学

奨学金・検定試験

高レベルの
学び

大学 大学院 留学

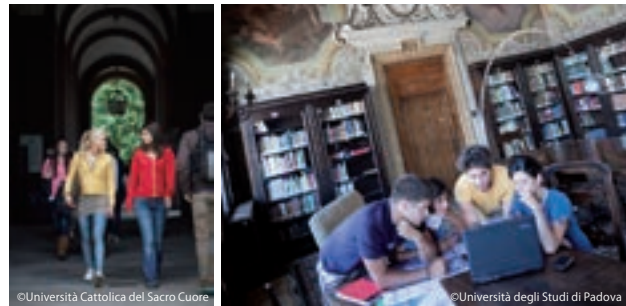
歴史と伝統ある大学で学ぶ

イタリアには数百年の歴史と伝統を誇る大学が全国各地に約90校あり、1088年に創設されたヨーロッパ最古のボローニャ大学をはじめ、その多くが国公立で、教育の質やレベルでも世界的に高い評価を受けています。
イタリアならではの最先端の分野も多く、また各大学の積極的な国際化により、世界中から教授陣や学生が集まるグローバルな環境で学ぶことができます。

■各分野で優れた教育を行う高等教育機関

基礎から専門分野まで質の高い教育を

創設がヨーロッパ最古のボローニャ大学をはじめ、数多くの高等教育機関が古くから多様で優れた教育を行っています。全国各地にある大学のほとんどは国公立で、基礎課程から専門研究までのさまざまなコースを開設しています。



大学の種類

総合大学

工科大学 Politecnico

建築・医学・食科学などの 専門大学

イタリア語の研究や 外国人大学
教育を専門とする Università per stranieri

日本からの登録・受講が可能 通信制の大学

■大学・大学院留学の特徴

英語による 学位取得コースが充実

国際化が進むイタリアの大学では、英語で講義が行われる学位取得コースが年々増加しており、英語だけの学位取得も可能です。世界各国から留学生が集まっていることもこうしたコースの特徴のひとつ。多様な文化的背景をもつ学生との交流を通じて、国際的で広い視野が身に付きます。詳しくは18、42ページを参照ください。

国公立ならではの学費

イタリアの高等教育機関はほとんどが国公立。教育の質が高いのはもちろん、学費が低く設定されています。これは教育の機会均等の理念に基づいたこと。大学、音学院、美術学院の通常の学費はおおよそ15～20万円(年間)で、留学費用を抑えることができます。詳しくは14～16ページを参照ください。

国際的なイタリアの大学

ヨーロッパのみならず、米国、アジア諸国などから来た、およそ30万人の留学生がイタリアで学んでいます。国際色豊かな学生たちとの出会いはイタリアの大学で学ぶ魅力のひとつです。また、世界各地から優れた教授陣、研究者も多く集まり、イタリアにいなから、グローバルな視点で自分の専攻を学ぶことができます。詳しくは11ページを参照ください。

■イタリアの大学の仕組み



POINT 1

3段階に分かれる教育システム

ヨーロッパ諸国が1999年に初めて合意した協定「ボローニャ・プロセス」で締結された欧州評議会欧州文化条約に基づき、3段階(3年+2年+3年)に構成されたヨーロッパ諸国共通の高等教育システムがイタリアの大学にも導入されています。詳しくは42、48ページを参照ください。
また通常、学年は9月～翌年1月(前期)と2月～7月(後期)という二学期制に分かれています。

第1レベル(3年間の基礎課程)
Bachelor's degree

第2レベル(2年間の専攻課程)
Master's degree

第3レベル(3年間の博士課程)
Research Doctorate/ PhD

POINT 3

Master's degree

Bachelor's degree の修業年限が比較的短いことから、近年、高度な専門性が特徴的なイタリアの Master's degree への高い進学率が顕著になっています。さらに、より実社会に即した実践的なスキルを身に付ける1年間の Specializing Master / Professional Master もあります。日本ではまだあまり知られていませんが、仕事との併用が可能で、欧州では社会人に人気のコースです。

■イタリアの大学留学で得られる4つのスキル

留学中は、慣れない環境で起こるさまざまな出来事や問題に立ち向かい、乗り越えていく力が必要です。イタリアの大学では、固定観念からの脱却が進み、「マニュアル」にない状況での応用力を鍛える授業が展開されています。

コミュニケーション力

授業は教師主導型ではないため、常に先生や他の学生との意思疎通、会話のキャッチボールが求められ、声に出して相手に伝えるように工夫して説明する能力が身に付きます。また、各履修科目終了後の口頭試験でも、担当教授に明確に答えるだけでなく、問題点や結論を巧みに論じることで高い得点を得ることができます。

批判的思考(クリティカル・シンキング)

イタリアの教育現場では昔から取り入れている手法で、暗記力を重視するいわゆる「詰め込み教育」とは対照的なアプローチです。学生が知識を受動的に学ぶのではなく、主体的に学んだ知識を分析し、たとえ教師が言ったことであっても情報源の信憑性を判断し、他分野の知識と統合したうえで、論点を明確にします。知識そのものの正確さ(妥当性)を評価しつつ、物事を考える姿勢が自然と身に付きます。

主体性

対話や質問への明確な返答のほか、授業への積極的な参加はカリキュラムの中で重要な位置を占め、授業中は学生の発言力も求められます。イタリアの大学には議論とされる課題に対し、相手の意見を受け入れつつ、自分の考えをはっきりと主張できる社会人を育成する環境が整っています。

学際的なアプローチ

各分野を個々に勉強することに加え、そこで習得した知識や手法を組み合わせながらアウトプットすることが、イタリアの基本的な学びの方法です。分野間の高い壁を破り、一見関連性のない事柄の中に共通性を見出し、専門知識を応用することで、独自の研究領域を構築することができます。イタリアの大学では、異なる分野に共通する部分を融合させて、新しい成果を生み出すことが古くから実践され、「Fashion Culture and Management」など、留学生の関心の高いクリエイティブなコースも定着しています。

POINT 2

豊富なカリキュラム

教師主導型の授業(Frontal teaching) からセルフラーニングへと、各大学ではセミナー、講演会、有識者とのトーク・イベント、研修、フィールドワークなどをプログラムに組み込み、学びの範囲を広げる取り組みが積極的に行われています。また、世界の大学・研究機関・企業と連携した産学連携型プログラムやファッション、食文化、美術などイタリアが誇る分野に特化したマネジメントプログラムに多くの留学生が関心を寄せているのが特徴的です(22～32ページを参照)。

POINT 4


単位と点数

イタリアと日本の各課程の科目数や単位のシステムには共通点がありますが、イタリアでは各科目の単位を取得するために試験に合格しなければならない点が日本とは大きく異なります。日本ではレポート提出が一般的であるのに対し、イタリアでは年に3回ある試験期間(秋、冬、夏)で履修科目に関するテスト(口頭試験が中心)を受け、30点満点で評価されます。教授との1対1の口頭試験(30分程度)では詰め込んだ知識を単にアウトプットするだけでなく、学際的なアプローチも含めた比較分析も学生に求められ、しっかり受け答えができる幅広い知識が必要とされます。そして、単位の取得以上に各科目の点数が重視されます。

イタリアの大学・大学院の
教育システム

Foundation Course

*大学入学要件に満たない方のみ



英語で学べる

44ページを参照

第1レベル

1年 2年 3年


3年間の基礎課程

Triennio

コース名
Corso di Laurea (Bachelor's degree program)

取得できる学位
Laurea (Bachelor's level degree)

出願資格
高等学校卒業



英語で学べる

43ページを参照

第2レベル

4年 5年


2年間の専攻課程

Biennio

コース名
Corso di Laurea Magistrale non a ciclo unico (Master's degree program)

取得できる学位
Laurea Magistrale/ Specialistica (Master's level degree)

出願資格
学士




英語で学べる

43ページを参照

第3レベル

Research Doctorate/ PhD



英語で学べる

48-49ページを参照

1年 2年 3年 4年 5~6年


基礎と専攻課程の一貫コース(5~6年制)

医学、歯科学、獣医学、薬学、建築などの分野に設置されている。基礎と専攻の一貫コースすべてを修了しなければ学位は取得できない。

コース名
Corso di Laurea Magistrale a ciclo unico (Combined Bachelor's / Master's degree program)

取得できる学位
Laurea Magistrale / Specialistica (Master's level degree)

出願資格
高等学校卒業



英語で学べる

43ページを参照

1年の専門コース

コース名
First-level Professional Master/ Specializing Master


45、48ページを参照

半期 または 通年

単科コース(聴講コース)

コース名
Corsi singoli

取得できる学位
なし



英語で学べる

45ページを参照

1年の専門コース


コース名
Second-level Professional Master/ Specializing Master

48ページを参照

半期 または 通年

大学交換留学

在籍している日本の大学と協定を結んでいるイタリアの大学に交換留学プログラムなどで留学する。



英語で学べる

46ページを参照

第1レベルと第2レベルの正規コース

イタリアの大学では、第1レベル(3年間の基礎課程)、第2レベル(2年間の専攻課程)、第1・第2レベルの一貫コースに分かれて(42ページ イタリアの大学の教育システムを参照)それぞれの専攻コースが設置されています。この中から、いずれかの専攻コースに登録し、必要な単位を取得して卒業試験に合格すると、学位が取得できます。

▼ 第1レベル、第2レベルの正規コースと取得できる学位

3年間の基礎課程	<p>コース名 Corso di Laurea (Bachelor's degree program) 3年</p> <p>取得できる学位 Laurea (Bachelor's level degree)</p> <p>コース内容 3年課程の基礎コース。高等学校を終了して登録するコース。専門知識は必要としない。</p> <p>出願資格 ●日本の高等学校を卒業していること。 ●入学するためには9月初旬に実施される入学試験に合格する必要がある。事前選考を実施する大学もあるので注意が必要。(手続きについては78ページを参照)</p>	 英語で学べる
2年間の専攻課程	<p>コース名 Corso di Laurea Magistrale non a ciclo unico (Master's degree program) 2年</p> <p>取得できる学位 Laurea Magistrale/ Specialistica (Master's level degree)</p> <p>コース内容 3年課程の基礎に続く、2年課程の専攻コース。上記の3年課程の基礎コースの知識が前提とされている。日本から出願する場合に、専攻分野で上記3年課程修了と同程度の専門知識が必要とされる。</p> <p>出願資格 ●日本の4年制大学を卒業(学士号取得)していること。 ●入学するためには9月初旬に実施される入学試験に合格する必要がある。事前選考を実施する大学もあるので注意が必要。(事前選考の手続きについては78ページを参照)</p>	 英語で学べる
基礎と専攻課程の一貫コース	<p>コース名 Corso di Laurea Magistrale a ciclo unico 5年~6年 (Combined Bachelor's / Master's degree program)</p> <p>取得できる学位 Laurea Magistrale/ Specialistica (Master's level degree)</p> <p>コース内容 基礎と専攻課程の一貫コース(5~6年制)。医学、歯科学、獣医学、薬学、建築などの分野に設置されている。ここでは、基礎と専攻の一貫コースすべてを修了して学位が取得できる。(基礎課程修了だけでは学位の取得はできない)</p> <p>出願資格 ●日本の高等学校を卒業していること。 ●特別な分野の定員制をとるコースでは、イタリア大学省が定めた期間内にイタリア大学省の高等教育専用サイト「www.university.it」でオンライン登録を済ませ、その後実施される入学試験に合格する必要がある。(手続きについては78ページを参照)</p>	 英語で学べる

※「イタリア教育大学研究省」は、「イタリア大学省」と略して表記します。

WEBでリサーチ!

大学・大学院留学情報

イタリア留学総合案内WEBサイト

Study in Italy

studyitaly.jp



©Università degli Studi di Padova

Foundation Course / ファンデーション・コース

イタリアの大学では、留学生向けに大学(音楽院・美術学院)第1レベルコースで勉強するための語学(英語、イタリア語)や専門分野の基礎知識、また学習スキルを学ぶための**大学進学準備コース Foundation Course**(ファンデーション・コース)の開講が増えています。

イタリア大学省の規定により、**日本の高等学校卒業後にイタリアの大学へそのまま進学できます**が、下記の場合は大学の入学を断られることがあります。

- 卒業した高等学校で得た単位が留学希望先の基準に満たない。
- 希望コースの開講言語の語学レベルが足りない。
- 最低限の12年間の小・中・高等学校教育を受けていない。

その場合、留学を延期せず1年未満の大学進学準備コース Foundation Course(Foundation Year ともいいます)に入学し、大学入学基準を満たすための知識を補うことができます。

コース終了後、修了証明書が発行され、Foundation Course を開講した教育機関以外でも入学の提出書類として使用が可能とされています。

また、時間をかけて総合的な準備ができるメリットもあるため、日本でもこのコースが注目され始めています。現在、イタリアで Foundation Course を開講している高等教育機関はまだ十数校に限りませんが、年々増えています。

英語で学べる学位取得コース



国際化が進むイタリアの大学・大学院では、第1レベルから第3レベルまでのさまざまな専門分野で「英語で学べる学位取得コース」が開講されています。

2019/2020年度において登録された、英語で学べるコースの数は1,000を超えています。

- ◆ Bachelor's degree program / Master's degree program : 398 コース
- ◆ Research Doctorate/ PhD : 382 コース
- ◆ Professional Master/ Specializing Master : 262 コース
- ◆ Winter / Summer School : 239 コース

*出典: L'internazionalizzazione della formazione superiore in Italia. Le università イタリア大学学長協議会

「英語で学べる学位取得コース」のメリット

- 英語で専門分野が学べる
- ワールドワイドな交流が育む多様な視点
- 国際的なコースで実践的なプログラムを学ぶ
- 英語の他にイタリア語が習得できる環境

「英語で学べるイタリア留学」は18ページで詳しく紹介していますので、そちらも参照下さい。



英語で学べる学位取得コースの探し方

P61「留学先の探し方」をご参照下さい

※「イタリア教育大学研究省」は、「イタリア大学省」と略して表記します。

2種類のマスターコース

一般的にマスターコースと呼ばれるものには下記の2つがあります。

- <第2レベル>の専攻課程: Corso di Laurea Magistrale non a ciclo unico (Master's degree program) (43ページ参照)
- <専門研究コース>の専門マスター: Corso di Master Universitario di Primo e Secondo Livello (Professional Master/ Specializing Master) (48ページ参照)

▼ この2つのマスターは名前は似ていますが、内容は異なります。

	専攻課程 Corso di Laurea Magistrale non a ciclo unico (Master's degree program)	専門マスター Corso di Master Universitario di Primo e Secondo Livello (Professional Master/ Specializing Master)
学位取得までの年数と開講期間	2年間。9～10月に開始し、6～7月に終了。	1年間。開講期間は大学・コースごとに異なり、各大学で個別に発表される募集要項で確認する。
教育内容	さらに深い専門知識やスキルを身に付ける。	専門知識を基に実社会に応じた実践的なスキルを身に付ける。
開講される学術分野	基礎課程同様にほぼすべての分野で開講される。	分野は限定的、大学によって異なる。
授業料	基礎課程と同様。	比較的高めに設定されている。国内外の大学や、研究機関、企業などのジョイントプログラムになっている場合もあり、コース毎に差があるのが特徴。
出願手続き	イタリア大学省サイト「www.universitaly.it」でオンライン登録を済ませる。 詳しくは78ページの留学手続きの流れを参照。	専門マスターは、それぞれの大学・コースの募集要項に従う。詳しくは49ページのモデルプランを参照。



英語表記の場合は注意!

コース名が英語で表記されている場合に、どちらのマスターなのかかわからないことがあります。内容や学位取得までの年数、そしてコースカテゴリーのイタリア語表記を調べるなどして確認してください。

単科コース Corsi singoli / 半期または通年の短期留学

日本の大学でいう聴講、学位は取得できない

イタリアの大学の単科コース Corsi singoli は、日本の大学で言う「聴講」。学位取得を目的とするものではありませんが希望に応じた様々な科目を受講できるのがメリット。大学で開講されるコース(Corso di Laurea / Corso di Laurea Magistrale)の中から受講を希望する科目を事前に登録して、半期か通年で受講します。学年末修了試験も受験でき、修了時には証明書も発行されますが、単位取得の認定はされません。

単科コースのメリット

- 短期間(半期か通年)、イタリアの高等教育機関に留学できます。
- 希望の科目だけを受講して集中的に学ぶことができます。ただし、登録単位数に上限があります。また、医学部など専門性の高い分野で定員制コースの講義は受講できません。
- 学位は取得できませんが、専門分野の知識を深め、ステップアップにつなげることができます。
- 将来の学位取得を目指した長期留学の準備として留学することもできます。(大学の雰囲気を確認する。あるいは自分の希望に応じた科目や指導教授の有無を調べるなど。同じ大学の正規コースへの転入については、事前に大学事務局で手続き方法詳細などを確認する必要があります)
- 通常、入学試験が無く、語学レベルも問われません。



● 大学や講義によっては日本の4年制大学を卒業(学士号取得)あるいは3年次以上に在学していることが必要となります。留学希望先の大学で事前に確認する必要があります。

※大学単科コース Corsi singoli の出願手続きは、直接学校とやりとりして手続きを行います。

大学交換留学

在籍する日本の大学と交換留学プログラムを結ぶイタリアの大学へ留学

日本の大学では、イタリアの大学と協定を結び、交換留学プログラムを実施する大学が増加しています。さまざまな利点からこのプログラムを利用して留学するケースが急増しています。日本の大学に在籍しながら、イタリアの協定校(大学)で数週間から半期、1年までの期間、イタリア語・イタリア文化、あるいはそれぞれの専門分野(英語での受講が可能)などを学びます。

交換留学のメリット

- 留学先の大学は協定校なので安心です。
- 留学準備や手続きなどでは在籍する日本の大学のサポートが受けられます。
- 日本の大学を留年・休学せずに留学できます。*
- 日本の大学と同様にイタリアの大学で習得した単位が認定される場合もあります。*
- 英語でも学べます。*



©Università Cattolica del Sacro Cuore

※大学交換留学の注意

大学交換留学プログラムは、これを実施している日本の大学に在籍している学生が利用できるものです。これらの実施規定は各大学が独自に定めているため、上記の利点があてはまらないことがあります。(留年・休学扱いとなる、単位が認定されない、言語指定があるなど他多数) 詳しいことは各大学の担当セクションに確認して下さい。

この他に、日本の大学とイタリアの協定大学の双方で学び、必要単位を修得すると両方の大学の学位が取得できる「ダブルディグリー・プログラム」を実施している大学もあります。

その他の短期留学 / 特別コース

サマースクールなど特色のある多くのコース

イタリアの大学では数週間程度の短期のサマースクールなどを実施しています。外国人学生向けのイタリア語・イタリア文化集中コース、専門分野のテーマ別の集中コースやワークショップなど、野外のアクティビティが含まれたものまで内容はさまざまです。詳しい情報はそれぞれの大学のホームページで入手することができます。(通常、こうした特別コースで単位の取得はできません)



©Università degli Studi di Genova



©Università degli Studi di Scienze Gastronomiche



©Università degli Studi di Scienze Gastronomiche

大学・大学院留学 留学準備



事前の入学選考審査や特別な分野は入学試験の時期や手続きに注意!

イタリアの大学に留学するためには、通常、留学する年の9月に留学希望先の大学で入学試験を受験しますが、一部のコースでは前年の秋から入学選考審査を開始したり、特別な分野やコースでは入学試験前にコース専用のオンライン登録が必要になるところがあります。

- 基礎と専攻課程の一貫コース(5~6年制)、専攻課程(2年制)、定員制や英語による学位取得コースの多くが事前の入学選考審査方法をとっています。詳しくは20、21ページを参照して下さい。
- 特に英語で開講される医学系コースの場合、IMAT という特別な入学試験が実施されます。
- これらの事前の入学選考審査や特別な入学試験の手続きに加え、イタリア大学省の高等教育専用サイト「www.university.it」でオンライン登録を済ませ、その年度の留学手続きを進める必要もあります。詳しくは79-81ページを参照して下さい。

出願手続き

イタリアの大学への出願は、ひとつの大学の1コースのみで、併願はできません。そのため、出願までに入学を希望する大学とコースを確定させておく必要があります。イタリアの大学に留学するためには、イタリア政府の規定によって、イタリア大学省の高等教育専用サイト「www.university.it」でオンライン登録を済ませる必要があります。特別な専門分野やコースによっては「www.university.it」でオンライン登録と併せて、大学に事前の入学選考手続きをして、事前審査(試験)を受ける、あるいは特別なオンライン登録などを完了させなければなりません。大学・大学院留学手続きの流れについては、78ページを参照してください。

EU圏外学生定員制

イタリア大学省の規定により、各大学・各専攻コースではEU圏外の学生の入学には定員があり、定員割がない大学・コースには出願できません。EU圏外学生定員については、留学希望先への入学申請を行う際、イタリア大学省の高等教育専用サイト「www.university.it」で選択可能な大学・専攻コースを確認することができます。

▶ 80ページ「留学手続きの流れ」STEP 4を参照してください。

滞在施設

ホームステイやアパート、寮などさまざまなタイプがあります。大学の学生サポートを担当するセクションやウェブサイトなどで、滞在施設の情報が入手できます。

学生割引

学生団体などに登録すると、さまざまな物を学割価格で購入できます。学生割引は国内旅行にも利用可能です。ただし、入会時に年齢制限を設けている団体もあります。

授業料

大学の種類(国公立あるいは私立)、コース、専攻分野によって授業料は異なりますが、年間で約15~20万円が目安です。私立大学の授業料は、公立大学に比べて高めに設定されています。

健康保険

日本で就学ビザを取得する段階で、滞在期間をカバーする旅行傷害保険に加入しなければなりません。

生活費

衣・食・住、娯楽などの生活費は、生活スタイルや住む都市・地域によって異なりますが、目安は1ヵ月につき約10~13万円。ミラノやローマなどの物価は東京と同じくらいですが、地方では比較的生活費を抑えられます。12ページをご参照ください。

奨学金

イタリアの大学・大学院に入学するための奨学金については、それぞれの大学に直接問い合わせること。イタリア政府奨学金は58ページを、日本の奨学金団体は59ページをご参照ください。



Check! 学校紹介

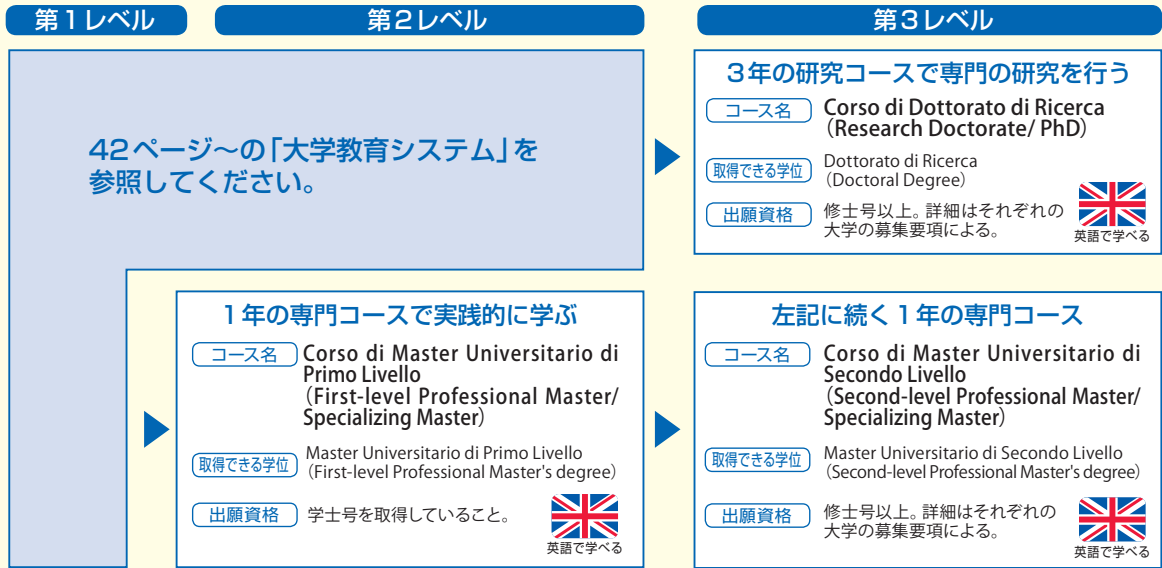
本誌の62ページから、イタリアの大学の紹介をしています。また、毎年11月にイタリア文化会館で行われる「イタリア留学フェア」にも、多数の大学が参加していますので、学校関係者と直接相談し、情報を得ることができます。

専門研究コース

より高度な学術研究や実践的スキルを学ぶ

イタリアの大学・大学院ではそれぞれの学術分野で高度な専門研究やその実践を展開するスペシャリストを養成しています。大学・大学院には、より深い学術研究で研究者を目指すコースの他、実社会などと連携したプログラムで実践的スキルを学ぶコースも。近年は英語で開講されるコースもますます増加しています。

イタリアの大学・大学院の 教育システム



▼大学・大学院留学〈専門研究コース〉の種類と取得できる学位

3年の専門研究コース	<ul style="list-style-type: none"> コース名: Corso di Dottorato di Ricerca (Research Doctorate/ PhD) 取得できる学位: Dottorato di Ricerca (Doctoral Degree) コース内容: 博士課程、学位取得までに最低でも3年必要。専門分野によっては、4~5年かかる場合もある。 出願資格: イタリアの大学の第2レベル修了と同等と認められた学位を取得していること。日本の大学院の修士号が必要。公募制をとっており、各大学各コースによって発表される募集要項に従って出願し、入学審査を受ける。これまで取得した学位だけではなく、専門分野の成績や研究成果などが審査の対象となる。入学審査の方法は、各大学各コースによって異なる。
1年の専門コース	<ul style="list-style-type: none"> コース名: Corso di Master Universitario di Primo Livello (First-level Professional Master/ Specializing Master) 取得できる学位: Master Universitario di Primo Livello (First-level Professional Master's degree) コース内容: 学位取得までに必要な期間は1年。それぞれの大学のおもな学術分野で専門性を高め、実践的なスキルを身につける目的で開設されたコース。コースによってはイタリア以外の大学と提携した国際プログラムとなっていたり、各種機関や企業での研修が含まれていることがある。 出願資格: イタリアの大学の第1レベル修了と同等と認められた学位を取得していること。日本の4年制大学卒業(学士号取得)が必須。各大学各コースで発表される募集要項に従って出願し、入学試験を受けて合格する必要がある。
1年の専門コース	<ul style="list-style-type: none"> コース名: Corso di Master Universitario di Secondo Livello (Second-level Professional Master/ Specializing Master) 取得できる学位: Master Universitario di Secondo Livello (Second-level Professional Master's degree) コース内容: Corso di Master Universitario di Primo Livello に続くコースで、学位取得までに必要な期間は1年。First-level と Second-level は一貫のコースではないため、それぞれに出願する必要がある。また、First-level のみで Second-level が無い場合もある。 出願資格: イタリアの大学の第2レベル修了と同等と認められた学位を取得していること。日本の大学院の修士号が必要。各大学各コースで発表される募集要項に従って出願し、入学試験を受けて合格する必要がある。

大学・大学院留学〈専門研究コース〉 留学準備

授業料

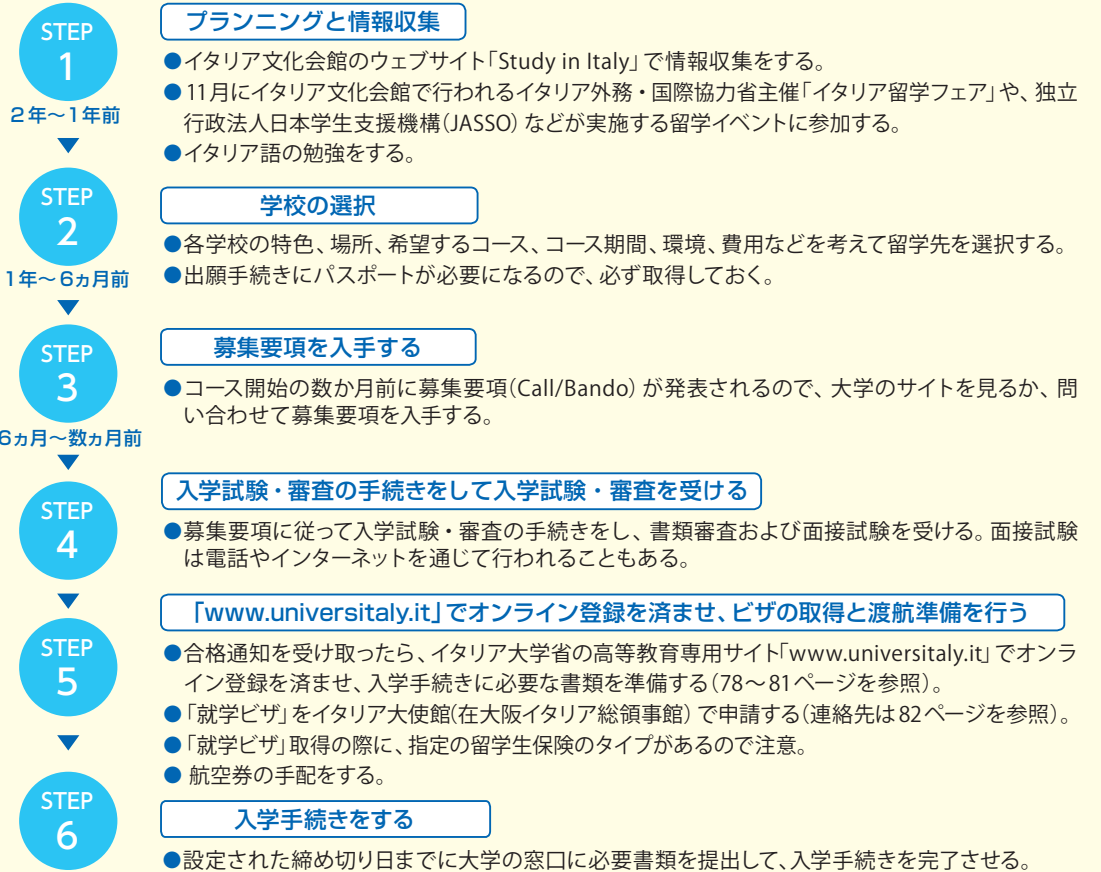
大学の種類、コース、専攻分野によって授業料は異なりますが、Research Doctorate/ PhD は年間約15~20万円、First-level/Second-level Professional Master と Specializing Master は年間約50~150万円程度で、コース内容によって大きな差があります。私立大学の授業料は、国公立大学に比べて高めに設定されています。
※そのほか滞在施設や生活費、学生割引、奨学金などについては、47ページを参照してください。

出願

イタリアの大学・大学院(専門研究コース)では、大学のコース毎に学年の開始・終了時期が異なるので注意が必要です。またコースの募集要項もそれぞれの大学が別々に発表するため、事前の情報収集が重要です。入学試験・審査の手続きは、まず本人が出願先の大学に直接行います。試験・審査に合格して入学許可を取得した後、イタリア大学省の高等教育専用サイト「www.university.it」でオンライン登録を済ませ、管轄となる領事部にビザ申請を行う必要があります。

イタリア大学・大学院〈専門研究コース〉 留学までの

モデルプラン



Check! 学校紹介

本誌の62ページから、イタリアの大学の紹介をしています。また、毎年11月にイタリア文化会館で行われる「イタリア留学フェア」にも、多数の大学が参加していますので、学校関係者と直接相談し、情報を得ることができます。

WEBでリサーチ! 大学・大学院留学情報

イタリア留学総合案内WEBサイト

Study in Italy
studyinitaly.jp

音楽の国
で学ぶ

音楽院 留学

世界有数の音楽院がイタリア全土に点在

イタリアには、長い歴史と豊かな伝統文化に支えられた世界有数の音楽院が全国各地に点在しています。「音楽の国イタリア」として知られている通り、どの音楽院も高いレベルの音楽教育を行っており、世界的に活躍する著名な音楽家を多数輩出してきた実績があります。優れた教授陣や充実した施設に加え、それぞれの音楽院の特徴を生かした音楽教育が行われているのが最大の魅力です。



提供:日伊協会

■ イタリアの音楽院の種類と特色

イタリアで音楽が学べる高等教育機関は下記2つの種類があり、全国各地に点在しています。

- ① 国立音楽院
Conservatorio di musica (約60校)
- ② 国立音楽院に準じる同等の音楽学校
Istituto Superiore di Studi Musicali (約20校)

これらの音楽院の専攻コースには、声楽、器楽、作曲、指揮、音楽教育学をはじめ、ギター、マンドリン、アコーディオン、古楽器などがあり、さらにクラシック以外にもジャズや電子音楽などのジャンルのコースも開講されています。開講されるコースはそれぞれの音楽院ごとに異なるので、注意が必要です。

■ 音楽院留学のコースと取得できる学位

イタリアの音楽院では第1・2レベルに分かれて、それぞれの専攻コースが設置されています。この中からいずれかの専攻コースに登録し、必要な単位を取得して卒業試験に合格すると、学位を取得できます。

第1レベル	第2レベル
<p>1年 2年 3年</p> <p>3年間の基礎課程</p> <p>Triennio</p> <p>コース名 Corso di Diploma Primo Livello</p> <p>取得できる学位 Diploma Accademico di Primo Livello</p> <p>出願資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本の高等学校卒業 ●9月初旬～10月上旬に実施される入学試験(イタリア語、専攻実技)に合格する必要がある。 	<p>4年 5年</p> <p>2年間の専攻課程</p> <p>Biennio</p> <p>コース名 Corso di Diploma Secondo Livello</p> <p>取得できる学位 Diploma Accademico di Secondo Livello</p> <p>出願資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本の4年制大学卒業(学士号取得) ●9月初旬～10月上旬に実施される入学試験(イタリア語、専攻実技)に合格する必要がある。

※第3レベルの Corso di Dottorato、Corso di Specializzazione は、一部の音楽院でのみ開講されています。
 ※第1レベルの下に Corso Pre-Accademico がありますが、高等教育のコースではないため、イタリア大学省の規定によって日本からの正式な出願は認められていません。ただし、進学準備コース Foundation Course(ファンデーション・コース)が開講されている音楽院もあります(44ページを参照)。
 ※各専攻をさらに深めた、あるいは内容がより細分化された Corso di Master I e II livello が開講されている音楽院もあります。

■ 音楽院留学 留学準備

出願手続き
 イタリアの音楽院への出願は、ひとつの学校の1コースのみで、併願はできません。そのため、出願までに入学を希望する音楽院とコースを確定させておく必要があります。
 イタリアの音楽院に留学するためにはイタリア政府の規定によって、イタリア大学省の高等教育専用サイト「www.university.it」でオンライン登録を済ませる必要があります。音楽院留学手続きの流れについては、78ページで確認してください。

EU 圏外学生 定員制
 イタリア大学省の規定により、各音楽院・各専攻コースには EU 圏外の学生の入学の定員が設けられており、この定員があるところのみ出願が可能です。
 EU 圏外学生定員は、留学する年の春にイタリア大学省がその年度の定員を大学省のホームページ上で発表しますので、そこで確認することができます。
 ▶ studyinitaly.jp/procedure/search/

音楽系専門学校で開講される学位取得コースの入学手続き

一部の音楽系専門学校では、イタリア大学省によって認定された「学位取得コース Corso di Diploma Primo & Secondo Livello (音楽院と同等の学位を取得できるコース)」を開講しているところがあります。

対象となる学位取得コースの名称

- Corso di Diploma Primo Livello (3年課程)
- Corso di Diploma Secondo Livello (2年課程)

注意：学校によっては取得できる学位が Laurea あるいは Bachelor と表記されていることがあります。

これらの学校の学位取得コースに入学する場合は、音楽院と同様にイタリア大学省の高等教育専用サイト「www.university.it」でオンライン登録を済ませ、その年度の留学手続きを進める必要もあります。

該当する学校の情報はイタリア文化会館のホームページ (studyinitaly.jp) の「留学スタイル・音楽院留学」のページで案内しています。

授業料
 音楽院の種類、コースなどによって授業料は異なりますが、年間で約15～20万円程度です。※そのほか滞留施設や生活費、学生割引、奨学金などについては、「大学・大学院留学」と同じです。47ページを参照してください。

イタリア語
 音楽院の授業はすべてイタリア語で行われており、入学する留学生は授業についていけるイタリア語力が必須で、中級以上のレベルが必要とされます。そのため、留学準備としてイタリア語を勉強することも重要です。



提供:日伊協会

WEBでリサーチ! 音楽院留学情報

イタリア留学総合案内WEBサイト

Study in Italy

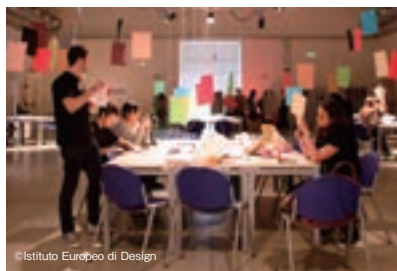
studyinitaly.jp

芸術の国
で学ぶ

美術学院留学

多くのクリエイターを生んだ芸術の国で学ぶ

イタリアは偉大な芸術家や多数の美術作品を生みだした芸術の国です。長い歴史と伝統が革新的な創造性と結びついた高いレベルの美術教育を行っているイタリアの美術学院から、世界的に活躍する著名なアーティストが数多く輩出されています。それぞれの美術学院は特色を活かした魅力ある教育によって、世界中から多くの留学生が集まっています。



©Istituto Europeo di Design

■ イタリアの美術学院の種類と特色

イタリアで美術が学べる高等教育機関は下記2つのカテゴリーがあり、全国各地に点在しています。

- ① 国立美術学院
Accademia di belle arti (20校)
- ② 国立美術学院に準じる同等の美術学校等
 - ・ Accademia di belle arti legalmente riconosciuta (18校)
 - ・ Istituto superiore per le industrie artistiche (ISIA) (5校)

これらの美術学院の専攻コースは、絵画、彫刻、舞台美術、修復、グラフィックアートなどに加えて、モザイク、ファッション、デザイン、写真、ニューメディアアートなど多岐にわたります。開講されるコースは、それぞれの美術学院によって異なるので注意が必要です。

■ 美術学院留学のコースと取得できる学位

イタリアの美術学院では第1・2レベルに分かれて、それぞれの専攻コースが設置されています。この中からいずれかの専攻コースに登録し、必要な単位を取得して卒業試験に合格すると、学位を取得できます。

第1レベル	第2レベル
<p>1年 2年 3年</p> <p>3年間の基礎課程</p> <p>Triennio</p> <p>コース名 Corso di Diploma Primo Livello</p> <p>取得できる学位 Diploma Accademico di Primo Livello</p> <p>出願資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本の高等学校卒業 ●9月初旬～10月上旬に実施される入学試験(イタリア語、専攻実技)に合格する必要がある。 	<p>4年 5年</p> <p>2年間の専攻課程</p> <p>Biennio</p> <p>コース名 Corso di Diploma Secondo Livello</p> <p>取得できる学位 Diploma Accademico di Secondo Livello</p> <p>出願資格</p> <ul style="list-style-type: none"> ●日本の4年制大学卒業(学士号取得) ●9月初旬～10月上旬に実施される入学試験(イタリア語、専攻実技)に合格する必要がある。

※進学準備コース Foundation Course(ファンデーション・コース)が開講されている美術学院もあります(44ページを参照)。
 ※修復などの一部のコースでは、基礎と専攻が一貫した5年制のコースになっています。
 ※第3レベルの Corso di Dottorato、Corso di Specializzazione は、一部の美術学院でのみ開講されています。
 ※また、各専攻をさらに深めた、あるいは内容がより細分化された Corso di Master I e II livello が開講されている美術学院もあります。

■ 美術学院留学 留学準備

出願手続き

イタリアの美術学院への出願は、ひとつの学校の1コースのみで、併願はできません。そのため、出願までに入学を希望する美術学院とコースを確定させておく必要があります。イタリアの美術学院に留学するためにはイタリア政府の規定によって、イタリア大学省の高等教育専用サイト「www.university.it」でオンライン登録を済ませる必要があります。美術学院留学手続きの流れについては、78ページで確認してください。美術学院と同等の美術学校の一部、また美術系専門学校での大学省が認定した学位取得コースの一部では事前の入学選考審査が実施されており、この手続きと併せて上記サイト「www.university.it」でオンライン登録も完了させなくてはなりません。詳しくは20、21ページ及び78ページを確認してください。

EU 圏外学生 定員制

イタリア大学省の規定により、各美術学院・各専攻コースには EU 圏外の学生の入学の定員が設けられており、この定員があるところのみ出願が可能です。EU 圏外学生定員は、留学する年の春にイタリア大学省がその年度の定員を大学省のホームページ上で発表しますので、そこで確認することができます。
 ▶ studyinitaly.jp/procedure/search/

! 美術系専門学校で開講される学位取得コースの入学手続き

一部の美術系専門学校では、イタリア大学省によって認定された「学位取得コース Corso di Diploma Primo & Secondo Livello (美術学院と同等の学位を取得できるコース)」を開講しているところがあります。

対象となる学位取得コースの名称

- Corso di Diploma Primo Livello (3年課程)
- Corso di Diploma Secondo Livello (2年課程)

注意：学校によっては取得できる学位が Laurea あるいは Bachelor と表記されていることがあります。

これらの学校の学位取得コースに入学する場合は、美術学院と同様にイタリア大学省の高等教育専用サイト「www.university.it」でオンライン登録を済ませ、その年度の留学手続きを進める必要があります。

該当する学校の情報はイタリア文化会館のホームページ (studyinitaly.jp) の「留学スタイル・美術学院留学」のページで案内しています。

授業料

美術学院の種類、コースなどによって授業料は異なりますが、年間で約15～20万円程度です。※そのほか滞施設や生活費、学生割引、奨学金などについては、「大学・大学院留学」と同じです。47ページを参照してください。

イタリア語

一部の美術学校を除いて美術学院の授業はすべてイタリア語で行われており、入学する留学生は授業についていけるイタリア語力が必須で、中級以上のレベルが必要とされます。そのため、留学準備としてイタリア語を勉強することも重要です。

学校選択

美術は学ぶ内容によって教育機関が異なります。芸術論や美術史などを学ぶ場合は大学で、実技を学ぶ場合は美術学院です。修復、デザイン、ファッションなどの分野は、大学や専門学校でも開講されています。教育機関によって、教育内容、取得できる学位、修業年数などが異なりますので、学校選択の段階で注意が必要です。

Check! 学校紹介

本誌の62ページから、イタリアの美術系専門学校の紹介をしています。また、毎年11月にイタリア文化会館で行われる「イタリア留学フェア」にも、多数の美術系専門学校が参加していますので、学校関係者と直接相談し、情報を得ることができます。

WEBでリサーチ! 美術学院留学情報

イタリア留学総合案内WEBサイト

Study in Italy

studyinitaly.jp

スキルを磨く

インターンシップ & 専門学校留学

一生モノの技術を身につける

近年、「手に職をつける」目的でイタリアに留学する人が増えています。イタリアでは、インターンシップや専門学校教育を通して、専門技術を学んだり、職業的な実務経験を積むことができます。現在、インターンシップや専門学校教育では、多様な分野(伝統技術、ジュエリー、楽器、陶芸、アート、音楽、食文化、ホテル、レストラン、商業など他多数)で、プロから初心者までを対象にさまざまなレベルのプログラムやコースが用意されています。

インターンシップ

職業に直結するイタリアのインターンシップ

日本でインターンシップと言えば、学生が在学中に企業などで研修生として働いて就業体験を得る制度として知られています。イタリアでは、こうした就業体験を目的としたインターンシップに加えて、各職業分野で専門的なスキルを身につけ、実践的な経験を積んで、そのまま職業に結びつけていく経験型のインターンシップが盛んに行われ、学生のみならず幅広い層の人たちが参加しています。

POINT 1

伝統技術を身につける

イタリアも日本と同様に長い歴史を誇る伝統工芸があります。革工芸、ジュエリー、ガラス、服飾、陶芸などの分野では、イタリア各地で異なる独特の技法や伝統を守り続ける工房がたくさんあり、イタリアの経済や産業を支える重要な役割を果たしています。こうした工房でイタリアの伝統技術を身につけて、帰国後、職人として職業に結びつけるケースも年々増えています。



POINT 2

実務経験を積む

イタリアが最先端といわれる食文化、ファッションなどの分野においては、基礎を学んでから、現場で実践的なキャリアを積んで職業にするケースも多く見られます。例えば、レストランからシェフ、ワイナリーからソムリエ、デザイン事務所からデザイナーなどのさまざまな仕事に直結しています。イタリアならではの分野で自分の可能性を広げることができます。



POINT 3

インターンシップのタイプ

初心者向け

- 初めての分野で職業体験をする。

プロフェッショナル養成

- 専門的な業種で本格的な専門知識や技術を身につける。
- すでに持っている専門スキルに実践的なキャリアを積む。



専門学校

プロを目指して専門分野を学ぶ

プロを目指すためには、専門学校などで専門分野の知識を徹底的に学んで資格を取る方法もあります。イタリアの教育システムにおいては、実践的な職業教育を高等学校レベルから取り入れているため、専門学校でも質の高い教育が行われています。専門学校教育の利点には、将来その分野での就業を目指す上で、関連情報が得られたり、現場とのつながりが深くなるなどがあります。

注目されている専門学校の分野

イタリアでは多様な分野で専門学校教育が行われていますが、日本から注目を集めている分野には下記のようなものがあります。

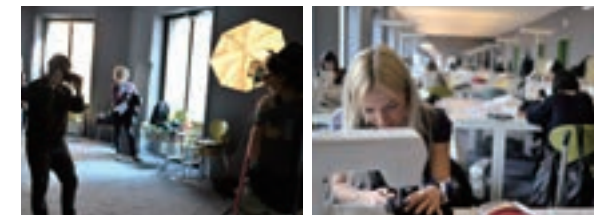
ファッション
ファッションビジネス

デザイン
グラフィック
写真

料理
ワイン
オリーブオイル

修復
革工芸 陶芸
モザイク

ツーリズム



©Istituto Marangoni

私立の専門学校

イタリアの専門学校のコースは多様な分野に渡り、専門知識・技術の習得をこれから目指す入門や基礎コースから、すでにその分野で実務経験がある人を対象にしたマスターコースなどがあります。コースの期間は数週間から1~3年の長期まで、さまざまです。学校が規定する課程を修了すると修了証や資格が取得できるコースもあります。多くのコースはイタリア語で開講されていますが、英語で受講できるコースも年々増加しています。開講時期は年に1回、2回、あるいは数ヶ月単位など学校やコースによってさまざまなので注意が必要です。



提供:日伊協会

提供:日伊協会

語学学校併設の学校や特別コース

語学学校に併設された学校や特別コースなどでも、専門分野について学ぶことができます。内容、期間、レベルなどは、学校によって異なるので注意が必要です。



©ICIF - Italian Culinary Institute for Foreigners

！ インターンシップに参加する方法と注意

インターンシップでは、はじめての就業体験的なもの、特定の業種で本格的に専門知識や技術を身につけるもの、すでに専門的なスキルがあってレベルアップや実務を積むためのもの等に大きく分かれます。準備段階での情報収集や、プログラム・コース選択では、注意が必要です。また、インターンシップ・プログラムの参加には18歳以上で、例外を除いて中級レベル以上のイタリア語が求められます。原則としてインターンシップによる報酬はありません。

ファッション、デザイン、料理(ワイン、オリーブオイル) 留学

特に高い人気を集めているファッション、デザイン、料理の分野では、第一線で活躍する専門家によって指導が行われ、たくさんの優秀な人材を輩出しており、世界的に高い評価を得ています。この分野でも、基礎からプロフェッショナルレベルまで、それぞれの目的に合わせた学校やコースが選択できます。各分野では最先端の知識が学べ、理論だけでなく、職業現場の実践的なスキルが習得できるのも大きな魅力です。

教育機関の種類と特色

専門学校	入門からプロフェッショナルのレベルまで、さまざまなコースがあります。
高等教育機関： 大学、美術学院	ファッション、デザインのコースは、大学 Corso di Laurea, Corso di Laurea Magistraleや美術学院Corso di Diploma I & II livelloでも開設されています(40ページの「大学・大学院留学」、52ページの「美術学院留学」を参照)。
団体が実施する プロ養成コース	ワインやオリーブオイルなどは、ソムリエ養成講座を各団体が実施しています。
語学学校併設の学校や 特別コース	語学学校に併設された学校や特別コースなどでも学ぶことができます。

■ インターンシップ&専門学校留学 留学準備

留学準備

日本で行われる各種の留学フェアやインターネットで調べたり、関心のある職業専門分野での留学体験者やその分野で仕事をしている人たちなどから話を聞いたりして、情報を集め、それらを比較検討することが大切です。また、不明な点や、さらに詳しい情報については、学校やプログラムの実施先に問い合わせましょう。

学校選択では、学校やコースの対象(プロがレベルアップを目指すコースなのか、あるいは初心者向け入門レベルかなど)や、コースの内容(理論や実技の割合、実習・研修の有無)が、学校やコース選択の大きなポイントとなります。留学までのモデルプランは「語学留学(35ページ)」を参照ください。

イタリア語

最近、専門学校では英語だけで行われるコースも年々増加していますが、多くの学校ではイタリア語で授業が行われており、またインターンシップでも現場のコミュニケーションはイタリア語中心となるため、中級以上のイタリア語が必要となります。事前にイタリア語を勉強していくか、あるいは現地でイタリア語研修が組み込まれたコースを選択するなどして、入念に準備しましょう。

授業料・プログラム参加料

学校やプログラムの種類、コース、期間などによって大きく異なります。事前によく確認しましょう。

ビザ

インターンシップ&専門学校留学でのビザ申請取得については、管轄のイタリア大使館(在大阪イタリア総領事館)に確認の上、時間に余裕を持って申請して下さい。



WEBでリサーチ!

専門学校留学情報

イタリア留学総合案内WEBサイト

Study in Italy

studyinitaly.jp

Check! 学校紹介

本誌の62ページから、イタリアの専門学校&インターンシップの紹介をしています。また、毎年11月にイタリア文化会館で行われる「イタリア留学フェア」にも専門学校、インターンシップ団体が参加しており、情報を得ることができます。

クレモナヴァイオリン制作専門学校

優れた楽器制作の歴史と伝統を持ち、多くの有名な弦楽器職人を輩出してきたクレモナ。現在も街の至るところに弦楽器の工房が立ち並んでいます。そして、継承されてきたこの素晴らしい技術を学びに世界各国から多くの留学生が集まっているのが、クレモナヴァイオリン制作専門学校です。

クレモナヴァイオリン制作専門学校<アントニオ・ストラディヴァーリ>

Istituto di Istruzione Superiore "Antonio Stradivari" Cremona
(Scuola Internazionale di Liuteria Cremona)
www.scuoladiliuteria.it



■ クレモナヴァイオリン制作専門学校の特徴

クレモナヴァイオリン制作専門学校は、楽器制作を学ぶための公立の職業専門学校(中等教育機関)です。修業年限は5年で、一学年は9月中旬に開始し、翌年の6月中旬に終了します(入学は年に1回)。ヴァイオリンなどの弓弦楽器の制作や修理、そしてギターやマンドリンのような撥弦楽器の制作の実技や理論が学べます。

■ クレモナヴァイオリン制作専門学校 留学準備と手続きの流れ

<留学準備>

イタリア語

学生の国籍はさまざまですが、授業はすべてイタリア語で行われます。授業についていけるイタリア語能力が必要となり、入学試験でもイタリア語試験が実施されます。

年齢

クレモナヴァイオリン制作専門学校はイタリアの中等教育レベルですが、日本からの出願は18歳以上に限られます。ただし、年齢制限の上限はありません。

編入について

楽器制作技術をはじめて学ぶ場合は、1年次に入学することになります。これまですでに弦楽器制作技術を修得し、学校側に単位認定がされた場合、3年次に編入することもできます。(単位認定には学校が規定する証明書類が必要となります。手続きや必要な書類の詳細は学校に確認して下さい。)

<手続きの流れ(参考情報)>

！ 出願者本人が直接学校とやりとりして出願手続きを行います。

留学する年の前年

学校のホームページで出願方法を確認する。

留学する年の
1月下旬~2月上旬頃

学校が指定した期日までに出願書(自分で作成)とそれに添付する書類を準備し、国際宅急便などを利用して、学校に送る。

1月~2月頃

イタリア教育大学研究省のサイトでオンラインの出願登録を行う。
(イタリア教育省のサイト www.iscrizioni.istruzione.it)

3月頃

学校から入学試験通知が届く。受験料の振込みや追加書類の提出なども記載されているので注意する。

6月

現地で入学試験を受ける。

夏

入学試験に合格したら日本に帰国して、就学ビザを申請・取得する。

9月

イタリアに再入国。新学期の開始。

*上記の「手続きの流れ」は、参考情報としてご紹介しています。変更が生じることもありますので、出願手続きや必要書類などの詳細は、学校のホームページで確認したり、学校に直接問い合わせるなどして下さい。

イタリア政府奨学金

イタリア政府は、イタリアの国立の大学・美術学院・音楽院・研究所などに留学する日本人を対象に奨学金を給付しています。

奨学金を受けるためには、毎年春に発表される「イタリア政府奨学金留学生募集要項」に従って応募し、選考試験通過後にイタリア外務・国際協力省からの決定を受けなければなりません。

■ 奨学金の概要 (2019年版*)

※正式にはその年に発表される「イタリア政府奨学金留学生募集要項」で確認して下さい。

専攻分野	人文科学、社会科学、自然科学及び芸術(美術、音楽等)
受入機関	イタリアの国立の大学・美術学院・音楽院・研究所等、イタリア政府認定の教育研究機関 ●大学正規コース、大学博士課程 ●大学研究活動(イタリア学術会議、国立衛生研究所等の公的研究機関、および国公立大学、美術館・博物館・公文書館等の公的機関での研究活動含む) ●美術学院・音楽院 ●語学コース
給費期間	奨学金は受入機関別に、2020年1月1日から2020年10月31日までの期間内で3ヵ月、6ヵ月または9ヵ月間支給される。(支給期間はコースによって異なる) ※奨学金の給費期間以外の費用については自己負担となる。
待遇	【奨学金】イタリア政府の規定額:900ユーロ(健康保険加入料免除) 【授業料】各教育機関の規定に基づいて免除される。ただし一部の教育機関で例外もある。
応募資格	①日本国籍を有する者 ②健康な者 ③年齢 コースによって以下の通りとなる。 A. 28歳以下の者。生年月日が1990年5月30日以降の者。ただし、本年度更新の者は除外される。 <大学正規コース、美術学院・音楽院、語学コース> B. 30歳以下の者。生年月日が1988年5月30日以降の者。ただし、本年度更新の者は除外される。 <大学博士課程> C. 40歳以下の者。生年月日が1978年5月30日以降の者。 <大学研究活動> ※大学・研究所によって独自の年齢制限等を設けている場合があるので、各自確認すること。 ④語学 A. イタリア語で開講されるコース:イタリア語の十分な能力がある者で、中級B2以上のレベルが必要。 ※語学コースを希望する場合は、初級A2以上のレベルが必要となる。ただし、語学コースは、現在大学に在籍し、イタリア語を専攻する者が対象となる。 B. 英語で開講されるコース:英語の十分な能力がある者で、中級B2以上のレベルが必要。 ※英語で開講されるコースの場合にイタリア語能力は問われない。
主な出願書類(欧文) ※詳細はその年の募集要項で発表されます。	①出願書 ②経歴書 ③留学中の研究計画書 ④大学(及び大学院)の学業成績証明書 在学中の場合は在学証明書も併せて提出すること。 ⑤最終卒業学校の卒業(修了)証明書 ⑥受入内諾書 ⑦推薦状 ⑧語学能力証明書 ※この他にも戸籍抄本や顔写真、専門分野によって演奏曲目リストや作品の写真などがあります。今後変更されることもあり、正式にはその年に発表される募集要項で確認する必要があります。
問い合わせ先	イタリア文化会館「国費留学担当」 〒102-0074 東京都千代田区九段南2-1-30 ※お問合せは、郵送による「留学に関する質問」で受け付けています。質問の手順は82ページを参照ください。 Web: https://studyinitaly.jp/scholarship/

*2020年イタリア政府奨学金は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により更新手続きのみとなりました。

その他の奨学金

イタリア政府奨学金の他にも、イタリア留学のために利用できる奨学金があります。

日本学生支援機構

留学支援事業を行う公的機関の独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)は、海外留学のための奨学金制度を実施しています。また、海外留学情報を提供する専用の「留学支援サイト」では、さまざまな団体が提供する海外留学のための奨学金制度が検索できます。

問い合わせ先

日本学生支援機構(JASSO)

〒135-8630 東京都江東区青海2-2-1
TEL: 03-5520-6111
Web: www.jasso.go.jp



公的機関である日本学生支援機構(JASSO)が運営する海外留学を考える方への情報サイトです。

Web www.ryugaku.jasso.go.jp



地方自治体などでも奨学金を提供しています。

都道府県や市町村、また国際交流団体などでも、海外留学のための奨学金を提供しています。

くわしい情報は日本学生支援機構(JASSO)の「海外留学支援サイト」内にある奨学金検索サイトで調べることができます。

エラスムス・プラス Erasmus+

イタリアを含む欧州27の加盟国からなる欧州連合(EU)は、留学先として世界屈指の魅力を備えた場所です。エラスムス・プラス(Erasmus+)は、2014年~2020年を対象とした、欧州連合(EU)教育助成プログラムで、この中には、日本の大学、学者、学生が参加できる修士課程のジョイントディグリー、短期留学、「ジャン・モネ」プログラムといった3つの主要プロジェクトがあります。

プログラムや応募の詳細についてはウェブサイトをご覧ください。

Web www.ec.europa.eu/programmes/erasmus-plus



問い合わせ先

駐日欧州連合代表部

〒106-0047 東京都港区南麻布4-6-28ヨーロッパハウス
TEL: 03-5422-6001 FAX: 03-5420-5544
Web: www.euin-japan.jp



©Università degli Studi di Milano-Bicocca



©Università degli Studi di Padova

イタリア語検定試験

イタリア政府認定の「イタリア語検定試験」は、外国語としてのイタリア語のコミュニケーション能力を証明するものです。イタリア語検定試験の合格認定証は、イタリアの高等教育機関（大学・音楽院・美術学院）の入学審査で、イタリア語力を証明するものとして使用できます。また、数多くの方が自分のイタリア語力を測るために受験しています。

■ イタリア政府認定の検定試験の種類



CLIQ イタリア語検定試験4機関における認定互換制度

イタリア外務・国際協力省が認定するイタリア語能力検定試験の新しいシステムで、下記4つの機関が発行する認定証が同等の価値をもっていることを保証しています。「欧州評議会設定標準語学習レベル」に基づき、イタリア語学習レベルは入門から最上級の6レベルに分かれています。

<p style="text-align: center;">シエナ外国人大学 CILS</p> <p style="text-align: center;">※日本での受験が可能です。詳しくは下記を参照してください。</p>	<p style="text-align: center;">ダンテ・アリギエーリ協会 PLIDA</p> <p style="text-align: center;">※日本での受験が可能です。詳しくはダンテ・アリギエーリ協会東京のウェブサイト (www.il-centro.net/dante) を確認してください。</p>
<p style="text-align: center;">ペルージャ外国人大学 CELI</p> <p style="text-align: center;">※日本での受験が可能です。詳しくは下記を参照してください。</p>	<p style="text-align: center;">ローマ第三大学 Certificazione Italiano</p>

上記のイタリア政府認定検定試験のB2.C1.C2レベルの合格認定証を保持している人は、イタリアの大学・音楽院・美術学院の入学試験で語学試験(イタリア語)が免除されます。

シエナ外国人大学「CILS」及びペルージャ外国人大学「CELI」について

シエナ外国人大学「CILS」(certificazione di Italiano come lingua straniera)及びペルージャ外国人大学「CELI」(certificazione di conoscenza della lingua italiana)は、イタリア政府認定のイタリア語検定試験でイタリア文化会館にて受験が可能です。CILSは、年2回(6月、12月)、CELIは、年3回(3月、6月、11月)実施されています。申し込みには、各試験用の申込書とパスポートのコピー(写真が掲載されているページの見開き)が必要です。申込書は、イタリア文化会館ホームページ(www.iictokyo.com/certi)よりダウンロードして頂けます。入門～最上級まで6つのレベルに分けられており、各レベルの習熟度の目安は、下表の通りです。受験料に関しては、イタリア文化会館ホームページをご参照下さい。

レベル	学習の目安
A1 入門	自己紹介や他者の紹介ができ、個人的な話題について質問・回答できる。
A2 初級	身近な話題に関する言い回しや表現を理解し、使うことができる。
B1 中級	日常生活の中で頻りに遭遇する場面で適切な言葉が使える、イタリア旅行が問題なくできる。
B2 中上級	日常生活の広範囲な場所に対応でき、また勉強や仕事において的確に意志の伝達ができる。
C1 上級	日常生活のみならず公の場面や仕事でも状況に適したイタリア語を使いながら意志の疎通ができ、イタリアの機関や企業等と口頭および書面で交渉することができる。
C2 最上級	公式、非公式のあらゆる状況だけでなく、仕事上でもコミュニケーションがとれる。ネイティブスピーカーと同等の能力を求めるものではありませんが、イタリア語を自由自在に使いこなす語学力が必要。

イタリア語検定試験「CILS, CELI」の詳細・問い合わせ先

イタリア文化会館2階 イタリア語コース
〒102-0074 千代田区九段南2-1-30 Tel: 03-3262-4500 Web: www.iictokyo.com/certi

留学先の探し方

年々関心が高まるイタリア留学。しかしイタリア留学を扱う留学エージェントはまだ少なく、留学先の探し方や決め方などに悩む学生が多くいるのが現状です。ここでは、自分に合った留学先を探して、比較検討ができるイタリア政府機関などが運営するサイトを紹介します。イタリアでどのような勉強や経験をしたいかを決めたら、次に「どの町に行きたいか」、「教育機関の規模」、「カリキュラム」、「学費」などを調べ、留学希望先を比較して絞っていきましょう。

イタリア高等教育ポータルサイト
「University.it」

www.university.it/

イタリア教育大学研究省が運営する高等教育専用サイト。大学・音楽院・美術学院の基本情報、各教育機関のコースや英語による学位取得コースなどの検索ができます(英語のページもあり)。有効活用ができる3つの検索エンジンを紹介しします。

「Where to Study」地域別検索

Google Map に連動した検索機能で関心のある都市付近の教育機関を検索することができます。
<https://www.university.it/index.php/maps/>

「Course Search」第1・第2レベルの学位取得コース検索

学術分野の専攻課程ごとに留学可能な教育機関を検索することができます。
<https://www.university.it/index.php/cercacorsi>

「Courses in English」第1・第2レベルの「英語で学べる学位取得コース」検索

Bachelor's degree と Master's degree コースの授業履修を英語で行う大学についてまとめたページです。
<https://www.university.it/index.php/public/cercacorsilinglese>

イタリア外務・国際協力省ポータルサイト
「Study in Italy」

<https://studyinitaly.esteri.it/>

イタリア外務・国際協力省が運営する高等教育専用サイト。都市、コースカテゴリー、専門分野などから学校やコースの検索ができます。(英語ページもあり)。最大のポイントは、**授業で使用される言語(イタリア語あるいは英語)でコースを絞る**ことができます。

イタリア大学総合情報ポータルサイト
「Universita.it」

www.universita.it

イタリアの大学で学ぶための基本情報や大学コース検索、奨学金などの情報が得られます(イタリア語ページのみ)。イタリア人大学生がよく使うサイトで、毎年、過去問題や対策コースなどをまとめた**入学試験(IMATも含む)の特集**が組まれます。

「StudyinItaly.jp & SNS」

イタリア文化会館が運営するイタリア留学総合サイト <https://studyinitaly.jp/> の「イタリアの学校 TOPICS」と、それに連動した**3つのSNS (Instagram, Twitter, Facebook)**です。イタリアの高等教育機関から届く、新しいコースやセミナー、奨学金などの最新情報を随時配信しています。

イタリア文化会館
「イタリア留学フェア・イタリア留学ガイド」

<https://studyinitaly.jp/fair/>

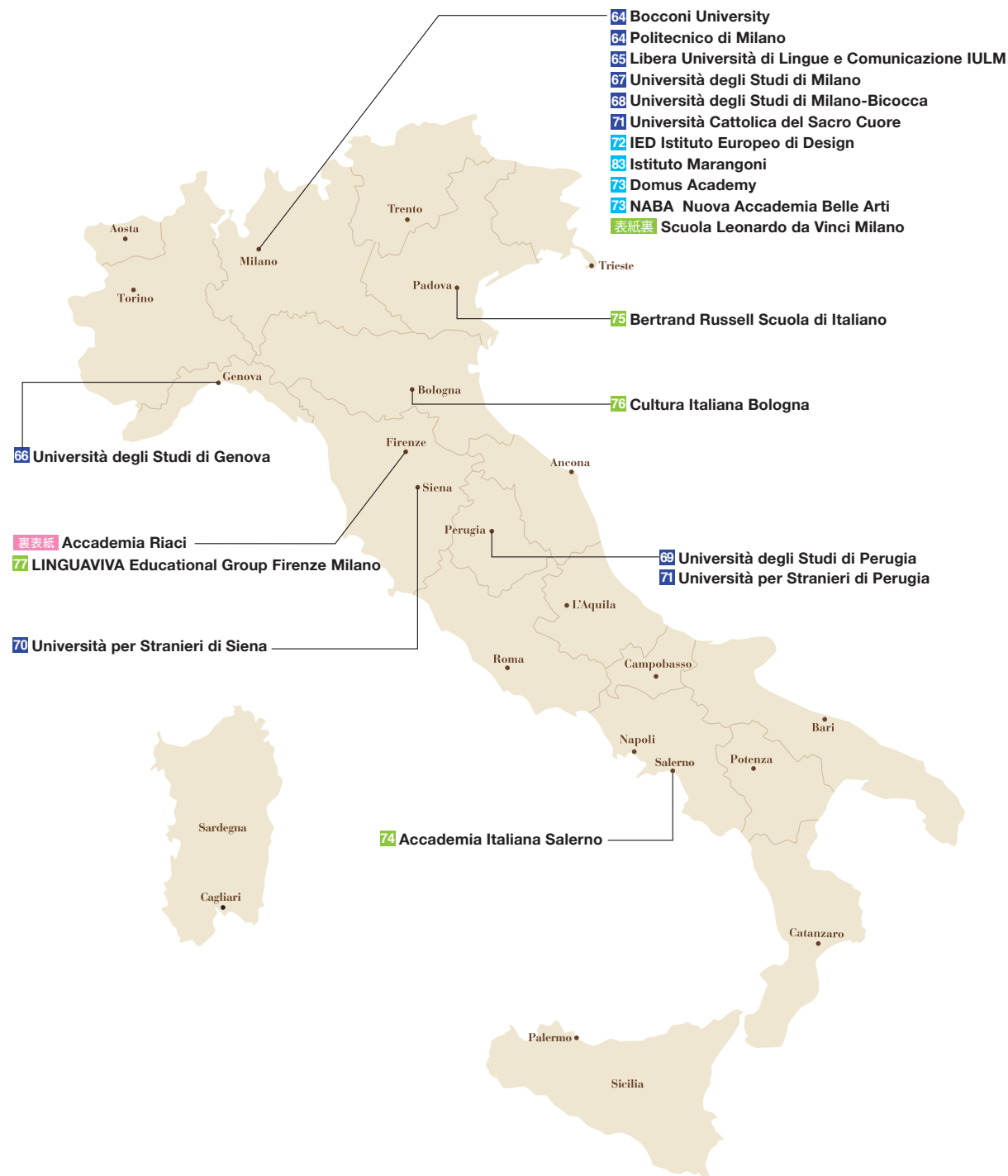
イタリア文化会館が毎年開催しているイタリア留学フェアと、情報誌『イタリア留学ガイド』に掲載されている、日本に特に関心がある大学・音楽院・美術学院・語学学校・専門学校の情報をまとめて閲覧できます。

Professional Master/ Specializing Master と Research Doctorate/ PhD に関して、現時点ではイタリア政府機関が運営するサイトはありませんが、教育関連機関が独自にまとめる最新情報を検索できるサイトがいくつかあります。詳しくは、イタリア文化会館が運営するイタリア留学総合サイト「StudyinItaly.jp」の「学校検索」ページ (<https://studyinitaly.jp/procedure/search/>) をご覧ください。

* 上記サイトの情報はイタリア文化会館が運営するイタリア留学総合サイト「StudyinItaly.jp」の「学校検索」ページ (<https://studyinitaly.jp/procedure/search/>) で確認できます。また、上記サイトに掲載されていないコースもありますので、最新情報は各大学のホームページで確認して下さい。

語学留学
 高校留学
 大学・大学院留学
 音楽院留学
 美術学院留学
 インターンシップ
 専門学校留学
 奨学金・検定試験

イタリアの教育機関



地図上の番号はページナンバーです。

■ 大学 ■ 美術学院・学位取得コースのある認定ファッション・デザイン専門学校
 ■ 料理・美術・観光留学 ■ 語学学校

大学

Bocconi University	64ページ
Politecnico di Milano	64ページ
Libera Università di Lingue e Comunicazione IULM	65ページ
Università degli Studi di Genova	66ページ
Università degli Studi di Milano	67ページ
Università degli Studi di Milano-Bicocca	68ページ
Università degli Studi di Perugia	69ページ
Università per Stranieri di Siena	70ページ
Università Cattolica del Sacro Cuore	71ページ
Università per Stranieri di Perugia	71ページ

美術学院・学位取得コースのある認定ファッション・デザイン専門学校

IED Istituto Europeo di Design	72ページ
Istituto Marangoni	83ページ
Domus Academy	73ページ
NABA Nuova Accademia Belle Arti	73ページ

料理・美術・観光留学

Accademia Riaci	裏表紙
-----------------	-----

語学学校

Accademia Italiana Salerno	74ページ
Bertrand Russell Scuola di Italiano	75ページ
Cultura Italiana Bologna	76ページ
LINGUAVIVA Educational Group Firenze Milano	77ページ
Scuola Leonardo da Vinci Milano	表紙裏

Bocconi

WORLD CITIZENS STOP IN MILAN

BSc AND MSc PROGRAMS IN ECONOMICS, MANAGEMENT, FINANCE, DATA SCIENCE, MATHS FOR AI AND POLITICAL SCIENCE

- RANKED TOP 5 IN EUROPE
- A GLOBAL NETWORK:
 - 280+ PARTNER UNIVERSITIES
 - 2,500 COMPANIES AND INSTITUTIONS
 - 120,000+ ALUMNI
- OUTSTANDING PLACEMENT OPPORTUNITIES WITH TOP EMPLOYERS WORLDWIDE
- VIBRANT CAMPUS IN DOWNTOWN MILAN

SUMMER SCHOOL FOR HIGH SCHOOL AND INTERNATIONAL UNIVERSITY STUDENTS

www.unibocconi.eu

Bocconi. Knowledge that matters.



Apply to the **best Italian technical university** and explore your future in **Design, Architecture or Engineering**.
 Enrol in one of the **40+ postgraduate programmes** available in **English** and breathe the international atmosphere of Milan and the university.

Find more on www.polimi.it/en/international-prospective-students



AI, machine learning, Internet of Things. Emotional intelligence will lead the future.

IULM, LEARNING THE FUTURE.



In Milan, IULM University has been a flagship for excellence in the field of **Communication, Languages, Tourism and promotion of Cultural Heritage** for over 50 years. With its modern campus and innovative study programmes, IULM addresses ambitious students who aim at high-profile international careers.

IULM offers undergraduate, graduate and PhD programmes.

English taught programmes

Three-year Bachelor's degree in:

- Corporate Communication and Public Relations

Two-year Master's degrees in:

- Strategic Communication (double degree)
- Hospitality and Tourism Management (double degree)

One-year Master's degrees in:

- Communication for International Relations
- International Tourism and Hospitality
- International Communication
- International Marketing and Sales Communication
- Food Design
- Game Design
- Museology - New Media and Museum Communication (online)

Università IULM

Via Carlo Bo 1, 20143 Milan (Italy)
 Admission Office: +39 02891412818 - admission@iulm.it
www.iulm.com

ACCESS THE FUTURE

The University of Genoa (UniGe) is one of the most ancient of the European large universities; with about 280 educational paths distributed in the headquarters in Genoa and the learning centres of Imperia, Savona and La Spezia, it comes up to the community as a well-established reality throughout the region.

Located at the heart of a superb city, offering splendors of its medieval and baroque heritage and site of the largest and most productive harbour in Europe, the University of Genoa is one of the most renowned multidisciplinary public universities in Italy, with peaks of excellence in several scientific and technological domains.

The University of Genoa is a landmark in the achievement of tools to consciously deal with the challenges of the present and the future and it ranks among the top 1.5% in international ranking.

UniGe FACTS

- 5 Schools
- 22 Departments
- 2,500 members: faculty & administrative staff



UNIVERSITÀ DEGLI STUDI DI MILANO



University of Milan

Innovation and tradition to build the future

STUDENT ENROLLMENT

32,000+ students including 3,000+ international students of 110 nationalities.



LIBRARIES

The 15 University libraries and the City Library System of Genoa have merged their services to create a single Integrated Library System. The broad array of services offered by the University libraries include both traditional text consultation and innovative, high tech services.

TEACHING

- With 125+ Degrees, including 14 courses in English, 58 School of Specialization, 28 PhDs and a wide range of university masters (1st and 2nd level), UniGe provides a truly multi-disciplinary teaching offer.
- The Scuola superiore dell'Università degli Studi di Genova (IANUA) encourages advanced educational paths of didactic and scientific excellences for worthy students selected by public contest.

RESEARCH

- Worldwide experts in all domains involving the sea: its habitat, its economy, its exploitation.
- Tight connections with one of the biggest oncological research hospital in Europe.
- Scientific and teaching synergies with the Istituto Nazionale di Fisica Nucleare (INFN) and the Consiglio Nazionale delle Ricerche (CNR).
- Systematic collaborations and sharing of facilities and infrastructure with high-tech national and international companies (e.g. IIT).
- UNESCO Chair "Anthropology of Health, Biosphere and Healing Systems" established in 2014

CAMPUS

- The oldest Campus, site of the Social Sciences and Humanities Schools, descends from the heart of the baroque city down to the ancient harbour.
- The Science and Engineering campus is located in the eastern part of the city, close to the fisherman village of Boccadasse.

GENOA, THE UNIVERSITY OF THE SEA

The University of Genoa proposes the most complete educational offer at national level focused on Science and Technology of the Sea with significant job opportunities.
sea.unige.it • mare@unige.it



JEMARO Erasmus Mundus Joint Master degree

UniGe is one of the three European Universities participating in JEMARO Consortium - Japan-Europe Master on Advanced Robotics, the Erasmus Mundus Joint MSc programme which allows students to get a double degree in Robotics Engineering from UniGe and Keio University in Tokyo. The programme is co-funded by the European Commission and the Japanese Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology (MEXT).

Humanities

Humanities
Language Mediation and Intercultural Communication

Medicine and Healthcare

Medicine
Veterinary Medicine
Pharmacy
Exercise and Sports Sciences

Economics, Law and Social Sciences

Political, Economic and Social Sciences
Law

Science

Science and Technology
Agricultural and Food Sciences

+ 70.000 students

+ 4.000 international students

+ 20 Double degrees

+ 1.000 international agreements to study abroad

23 English-taught programmes

+ 25 English-taught Ph.D. programmes

+ 130 Bachelor's and Master's programmes

www.unige.it

www.unimi.it/en
international.office@unimi.it





facebook.com/bicocca
 instagram.com/unimib
 twitter.com/unimib
 youtube.com/bicocca
 flickr.com/unibicocca



READY TO JOIN EXCELLENCE?

Our top ranked University, based in Milano, an elegant, international, dynamic, culturally engaging city, offers:

- 32 Bachelor's Degrees.it
- 35 Master's Degrees
- 6 Master's Degrees taught in English
- 17 PhD programmes



UNIVERSITY OF MILANO-BICOCCA
SO YOUNG AND FOREFRONT!

www.unimib.it



A.D. 1308
unipg
 UNIVERSITÀ DEGLI STUDI DI PERUGIA

THE UNIVERSITY OF PERUGIA IS WAITING TO WELCOME YOU

FOUNDED IN 1308
 MORE THAN 90 DEGREE PROGRAMS
 MORE THAN 60 POST-DEGREE PROGRAMS



SINCE 1308 WE'VE BEEN BUILDING YOUR FUTURE

YouTube Studium Generale Perugia

f @UniversitaPerugia

Instagram @unipg1308

Twitter @UniperugiaNews

www.unipg.it



イタリア人と外国人留学生が共に学ぶ国際色豊かな国立大学です。イタリア語・イタリア文化の教育活動とそれらを世界へ広めるための学術研究を目的としています。毎年、大学正規コースや外国人のためのイタリア語コースの開講を通じて、世界中から集まる学生のための高等教育の場となっています。大学のあるトスカーナ州シエナは、中世の面影を色濃く残したイタリア国内でも最も美しく安全で華やかな歴史的・芸術的財産の宝庫と称され、安心して留学できる環境です。

シエナ外国人大学言語教育センター(CLUSS)は、外国人へのイタリア語教育を専門とし、イタリア語コースは年間を通して、全くの初級者から上級者向けのすべてのレベルのコースが毎月開講されています。現地での受講、または日本からも参加が可能なリアルタイムのオンライン授業やインターネットを利用した個人学習も組み合わせられた遠隔学習コースが選択でき、それぞれ1ヵ月から長期の申込みが可能です。2週間だけのコースの申込みも可能です。

外国人学生対象のコース

- ・ 一般イタリア語コース
- ・ イタリア文化コース(美術、建築、文学、音楽、ワイン・食文化、Made in Italy, 経済)
- ・ イタリア語教師向けのコース
- ・ リクエストに応じた特別コース
- ・ マンツーマンレッスンの企画やグループでの受入れ等

イタリア人学生と外国人学生を対象とした大学正規コース

- 3年間の基礎課程
- ・ 言語・文化交流専攻
- ・ イタリア語・イタリア文化/外国人・学校教育のためのイタリア語教育専攻
- 2年間の専攻課程
- ・ 言語学・異文化間コミュニケーション専攻
- ・ 出版業、教育、観光プロモーションの分野におけるテキスト運用能力専攻

検定試験

- ・ CILS - イタリア語検定試験
- ・ DITALS - イタリア語教育能力検定試験

聖アンナ高等師範学校、ピサ大学、シエナ大学、イタリアソムリエ協会と連携したイタリアワインとそのマーケティングマスターコースやDITALSマスターコースなど、様々な分野を専門的に学べる1年間の専門マスターコース(I livello)もあります。

その他、学生寮の予約、滞在許可申請等に関するサポート有。学内ではWIFI(無線LAN)が無料で利用でき、図書館と自習室の利用も可能です。

本学においては新型コロナウイルス感染防止のための対策に厳密に従うことにより、学内全体および各学生の健康と安全を保護します。



イタリア留学
言語と文化を学ぶ
国際教育機関

www.unistrasi.it

お問い合わせ e-mail: info@unistrasi.it
または giappone@unistrasi.it (日本語可)
Tel. +39.0577.240100

OPEN NEW DOORS
Study at Cattolica

- 13 Subjects in the top 300 QS World University Rankings by Subject 2020**
- Our main subjects:** Arts Management, Business, Communication, International Relations, Medicine & Surgery, Psychology
- #1 in Italy for employer-student connections QS Graduate Employability Ranking 2020**

international.unicatt.it @ international.inquiry@unicatt.it
[UCSC.International](https://www.facebook.com/UCSC.International) [ucscinternational](https://www.instagram.com/ucscinternational)

Università per Stranieri di Perugia

[WWW.UNISTRAPG.IT](http://www.unistrapg.it)
welcomel@unistrapg.it

ペルージャ外国人大学 **イタリアと世界をつなぐ大使**

ペルージャ外国人大学は、イタリア語とイタリア文化の普及を目的とした国立教育機関として1921年に創立されました。ペルージャ旧市街にあるキャンパスでは、年齢や国境を越えて世界中の学生たちが共に学んでいます。イタリア語イタリア文化コースは、欧州言語共通参照枠に準拠した初級(A1~A2)、中級(B1~B2)、上級(C1~C2)の6レベルに分かれています。今年からは従来の対面式授業に加えて、イタリア語コース、イタリア語会話コース、イタリア文化コース、イタリア語翻訳・演習コース、イタリア語イタリア文化特別コースなど、リアルタイムで学習できる各種オンラインコースが開講されています。また1990年代に開設された学位取得コースでは、イタリア語教育や国際コミュニケーション、またメイド・イン・イタリアのスペシャリスト養成など、様々な専門分野について学ぶことができます。

日本語でお答えします!

IEDはヨーロッパ最大の私立総合デザイン学校で、イタリアのDNAを100%受け継いだ国際的なデザインネットワークを持つ教育機関です。
本校は1966年の創立以来、創造と産業の世界の融合を重視してきました。キャンパスは3カ国11都市に分布しており-ミラノ、トリノ、フィレンツェ、ローマ、コモ、カリアリ、ヴェネツィア、バルセロナ、マドリッド、サンパウロ、リオデジャネイロ-にあり、学部はデザイン、ファッション、ビジュアルアート、コミュニケーション&マネジメント等全ての分野に渡り、トレーニングや研究をベースに育成しています。
2017年秋には世界的にも知名度の高い「ミラノ・トリエンナーレ デザイン博物館」で創立50周年の式典を催し大盛況に終わりました。

ISTITUTO EUROPEO DI DESIGN

提供コース
(本校はコースにより使用言語をイタリア語と英語から選択可能。)

- 1年間準備コース：
ペルージャ外国人大学とのタイアップによるイタリア語使用の学科入学前の語学プログラムコース：
(1年制)
- 3年制ディプロマコース：
イタリア教育省、大学および研究機関によって認められた第1レベルの学位(3年間-180単位)
- 3年制 パチェラー(BAH)コース：
イギリス・ウェストミンスター大学の認定を受けた芸術学士(BAH)取得コース(3年制、イギリス公認180単位)
- 3年制 パチェラー(MIUR)コース：
MIUR・AFAM認定証書取得コース(3年制 イタリア教育省、大学および研究機関が認定した大学第1レベルの学位、公認180単位)
- マスターコース：
イタリア教育省、大学および研究機関が認定した大学院第1レベルの学位(1年制、60単位)
- IEDプライベートマスター：
IED認定修了証(1年制 単位審査なし)
- 単科コース - 1年間コース：
バリエーション多数、共にIED認定修了証のみみ



+50年の経験
100%イタリアンネットワーク
世界11カ所に分布
年間10,000人の学生
+100ヶ国以上の在籍者

ied.edu



THE DOMUS OF POSSIBILITIES

STUDIES 100% GUARANTEED

The Most Visionary
Postgraduate Design School

Design
Fashion
Experience
Business



DOMUS ACADEMY MILANO
www.domusacademy.com



NABA
NUOVA ACCADEMIA
DI BELLE ARTI

INTERNATIONAL ACADEMY
OF ART & DESIGN



MADE IN NABA®

UNDERGRADUATE |
POSTGRADUATE |
SUMMER PROGRAMMES

Communication
and Graphic Design
Design
Fashion Design
Media Design
and New Technologies
Set Design
Visual Arts

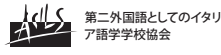
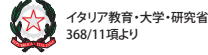
www.naba.it



MILAN | ROME



当校は以下の機関より認可されています。



イタリアの中心“南イタリア”で語学と文化を学びましょう!

アカデミア・イタリアーナ(サレルノ)では以下のコースを用意しております:

- ・イタリア語コース、芸術コース、歴史コース、料理コース、ワインコース(短期コース/長期コース)
- ・インターシッピング
- ・遠足、美食の視察



イタリア語、イタリア文化センター

カンパーニャ州、サレルノ県、サレルノ市後援

www.accademia-italiana.it

いつでも気軽に自分の留学生活に役立つ情報を探そう!

イタリア文化会館 イタリア留学情報コーナー

イタリア文化会館にはイタリアの語学学校、大学、ファッション・デザイン・料理の専門学校など、イタリア留学全般の情報を閲覧できる情報コーナーがあります。



イタリア留学フェアに参加した学校やイタリア留学ガイドに紹介されている教育施設、語学の奨学金を提供している学校も含め、様々な資料を閲覧し、ご自由にお持ち帰りできます。



Bertrand Russell

一年間留学で特別割引料金適用!

パドヴァで皆さんをお待ちしています!



イタリアで学び・生活する

ヴェネチアに近い大都市のパドヴァは、アンティークな街並みが残る素敵な町です。ベルトランド・ラッセルは、少人数クラスで行き届いた質の高い授業を提供。イタリア語初心者にも、上級者にも、理想的な語学学校と言えます。個性豊かな教師・スタッフのサポートのもと、観光だけに終わらない本当の“イタリア生活”を体験することができます! スタッフ・教師一同、心より皆さんをお待ちしています!

※ご質問等、お気軽にお問い合わせください。

※初心者でなければコースの途中から受講できます。

>> 授業時間 月曜日～金曜日 9:00～13:00

>> 授業料 1ヶ月(80時間)600ユーロ

4ヶ月連続受講(320時間)2200ユーロ

6ヶ月連続受講(480時間)2500ユーロ

>> 特別割引料金・・・4000ユーロで1年間通学!!

詳細は当校までお問い合わせください。

※Facebookも併せてご覧ください。

www.facebook.com/bertrandrussellpadova

Via E. Filiberto 6,
35122 Padova, IT

www.bertrand-russell.it
school@bertrand-russell.it

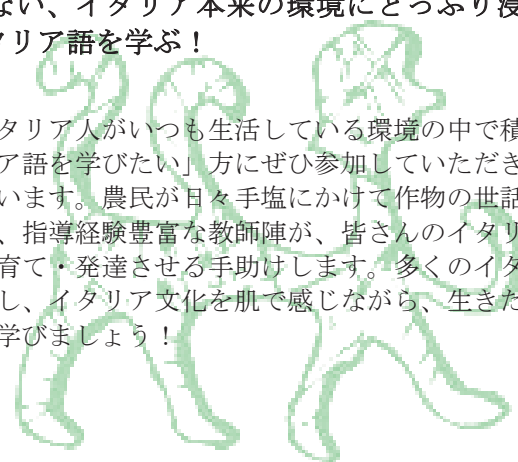
tel +39 049654051
fax +39 0498754133



Cultura Italiana
Italian Language School

観光地ではない、イタリア本来の環境にどっぷり浸かって、イタリア語を学ぶ!

本校は、「イタリア人がいつも生活している環境の中で積極的にイタリア語を学びたい」方にぜひ参加していただきたいと考えています。農民が日々手塩にかけて作物の世話をするように、指導経験豊富な教師陣が、皆さんのイタリア語の知識を育て・発達させる手助けします。多くのイタリア人と交流し、イタリア文化を肌で感じながら、生きたイタリア語を学びましょう!

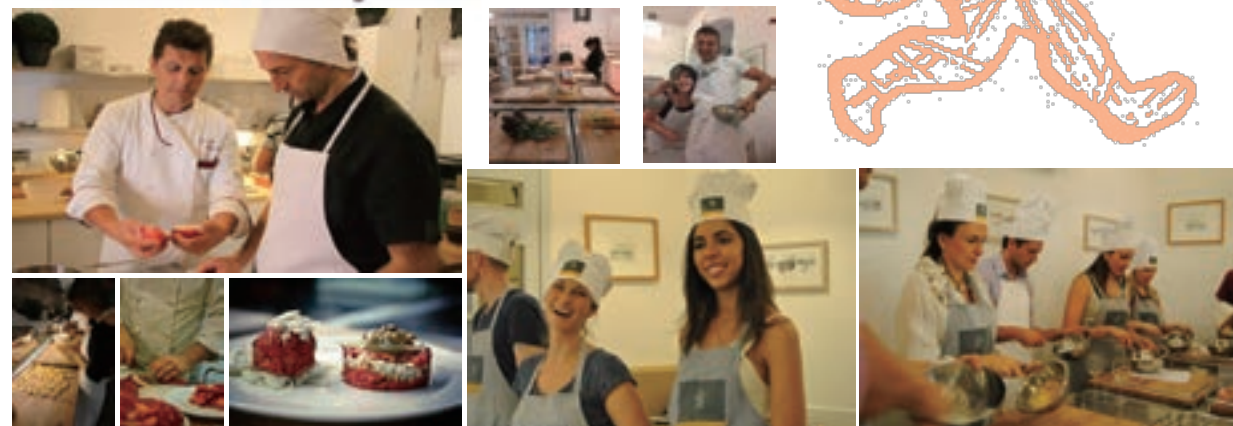


「食の街」ボローニャでイタリア料理とワインを学ぶ!



Bologna Cucina
Cultura Italiana Cooking School

豊かな食文化を誇る街「ボローニャ」で、本場の質の高いイタリア料理を学んでみませんか? 指導経験のあるプロの料理人と一緒に、たくさんのレシピを実際にご自分で作ってみましょう。皆さんはシェフの指示に従って、料理します。素材を選び、切り、調理し、料理が出来上がるまでの全ての工程を体験していただけます。レッスンの後には、出来上がった料理をみんなで試食しましょう! イタリア語が分からなくても大丈夫、シェフのすることを見て真似するだけでよいのです。絶対必要というわけではありませんが、多少英語がわかれば役に立つでしょう。"クルトゥーラ イタリアーナ ボローニャ クチーナ"は、シェフ養成のための職業訓練学校です。



40年以上にわたる豊富な経験を誇る
語学教育と文化への情熱
フィレンツェ、ミラノ、東京で学ぶイタリア語

LINGUAVIVA フィレンツェ

世界に類を見ない
芸術と文化の街フィレンツェ
1976年設立のLinguaviva

講座

- スタンダード・集中コース
- CILS検定試験対策(プライベート)
- イタリア語+アート
- イタリア語+料理
- インターンシップ
- シニア文化プログラムなど

宿泊先

- 選ばれたホームステイ
- シェアアパート・個人用アパート
- 徒歩通学ができる物件あり

課外活動

多彩なプログラムが満載
フィレンツェの文化、芸術に触れ、
楽しみながら見聞を広げます。
他の都市への遠足も多数。

LINGUADUE ミラノ

イタリアのファッション、デザイン、音楽
の中心地ミラノ
1990年設立のLinguadue

講座

- スタンダード・集中コース
- PLIDA試験対策(プライベート)
- イタリア語+ファッション、インテリアデザイン
- インターンシップ など

宿泊先

- 選ばれたホームステイ
- シェアアパート・個人用アパート
- 通学:公共交通機関を利用して30分以内

課外活動

文化的な側面からミラノを発見する興味深い
各種プログラム。名所や他の都市の見
所もご紹介します。

LINGUAVIVA 東京

1986年設立のリンガビーバ・イタリア
語教室

講座

- Linguavivaの教授法に基づく質の高い授業と厳選された講師陣
- 入門から最上級レベルまで多彩な講座を開講
- 少人数クラス
- 留学前のイタリア語準備コース

留学相談と申込手続き

• Linguavivaフィレンツェ・Linguadue
ミラノへのイタリア留学申込窓口
充実した留学を実現するため、皆様のご要望にあわせたサポートを提供しております。

**Linguaviva Linguadue
オンラインコースも充実!**

- グループレッスン
- 個人レッスン
- イタリア語+美術史
- イタリア語+ファッション



イタリア留学の
お問い合わせ
お申し込み先

LINGUAVIVA Tokyo リンガビーバ・イタリア語教室
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-33-6-203 www.linguaviva.jp
Tel:(03)3208-5446 Fax:(03)3208-9703 E-mail:infolingua@ellevu.jp

留学手続きの流れ

イタリア大学省の高等教育専用サイト「www.university.it」を通して留学手続きをする教育機関

下記の教育機関へ留学をする場合、イタリア政府の定めによってイタリア教育大学研究省*の高等教育専用サイト「www.university.it」でオンライン登録をして出願申請手続きを行うことになっています。イタリア大学省が規定する滞在資格(EU圏国籍保持者と同等の滞在資格)でイタリア国内に居住している場合を除いて、自分で直接イタリアの学校に出願手続きをすることはできません。語学学校などに就学ビザを取得して留学している場合でもこの資格に該当しないため、**手続き期間中に一時帰国して出願手続きを完了させなくてはなりません。**

大学正規コース	Bachelor's and Master's degrees Corso di Laurea / Corso di Laurea Magistrale	イタリア大学省の 高等教育専用サイト 「 www.university.it 」 でオンライン登録をする 
音楽院	▶音楽院(Corso di Diploma Primo Livello / Secondo Livello) ▶一部の音楽系の専門学校の学位取得コース ※詳しくは、50ページを参照して下さい。	
美術学院	▶美術学院(Corso di Diploma Primo Livello / Secondo Livello) ▶一部の美術系の専門学校の学位取得コース ※詳しくは、52ページを参照して下さい。	
大学	Professional Master/ Specializing Master, PhD Corso di Master I & II Livello、Corso di Dottorato di Ricerca ※各大学の出願要項(Bando)に従って行います。詳しくは、49ページを参照して下さい。	

*「イタリア教育大学研究省」は、「イタリア大学省」と略して表記します。

! 上記以外の学校、大学単科コース、外国人大学の語学コース、大学附属外国人向け語学コース、私立の語学学校、専門学校、国公私立の小・中・高等学校に留学する場合は、**自分で直接学校に申請して入学手続きを行う必要があります。**
 ※留学希望先の教育機関に入学手続きを確認して、必要な手続きを完了させて下さい。
 ※外国人大学の語学コース、大学附属外国人向け語学コース、私立の語学学校、専門学校の留学手続きについては、それぞれのページを参照して下さい。(語学学校は34ページ)
 ※外国人大学の語学コース、大学附属外国人向け語学コースはイタリア大学省の高等教育専用サイト「www.university.it」を通して留学手続きをする場合がありますので、留学希望先の教育機関にご確認ください。

▼ 手続きの流れ ▼

STEP 1
 出発
2年~1年前

情報収集と学校の選択

大学正規コース
音楽院
美術学院

- イタリア文化会館のホームページ「studyinitaly.jp」やイタリア大学省の高等教育専用サイト「www.university.it」で情報収集をする。
- イタリア文化会館で行われるイタリア留学フェア、JASSO(独立行政法人日本学生支援機構)や各大学が実施している留学フェアなどのイベントに参加する。
- イタリア語の準備・勉強をする。
- 学校の特色、場所、希望するコース、コース期間、環境、費用などを考えて選択する。
- 出願手続きにはパスポートが必要になるので、必ず取得しておく。

STEP 2
 留学の1年~
数ヶ月前

事前選考手続き

大学正規コース

(一部のコース)

美術学院

(美術学院と同等の美術学校の一部、また美術系専門学校で大学省が認定した学位取得コースの一部)

該当者のみ

- 事前の入学選考審査は、教育機関やコースによって、実施の有無がさまざまです。はじめに留学希望先の教育機関のホームページや問合せで、事前の入学選考審査の有無を確認する必要があります。

*留学手続きの流れや必要書類などは、年度によって変更されることがあります。イタリア文化会館のホームページ「イタリア留学総合サイトStudy in Italy」studyinitaly.jpの「留学NEWS」や「留学手続き」などで最新情報を確認して下さい。

STEP 2

該当者のみ

注意!

事前の入学選考審査について
※事前の入学選考審査の詳細は、20ページを必ず参照して下さい。

事前の入学選考審査とは?

イタリア大学省の規定によってイタリアの高等教育機関の入学試験は、通常9月に実施されています。事前の入学選考審査は、これより前に行われます(早いところは入学の1年前から、一般的には留学する年の冬・春ごろから開始されることが多い)。

実施方法には2つのタイプがあります。

タイプA	募集要項が発表され、入学選考試験を受ける
タイプB	個人で合格レベルに達しているかどうかの事前評価審査を受ける

該当する教育機関

タイプA	大学正規コース<第1レベル、第2レベル、第1と第2レベルの一貫コース>の一部 美術学院と同等の美術学校の一部、美術系専門学校でイタリア大学省が認定した学位取得コースの一部
タイプB	大学正規コース<第1レベル、第2レベル、第1と第2レベルの一貫コース>の一部

▼ 事前の入学選考審査の流れ ▼


事前の入学選考審査の有無を調べる

事前の入学選考審査が有る

事前の入学選考審査が有る

事前の入学選考審査を受ける

合格

不合格
不合格の場合、同じあるいは別の大学で9月に入学試験を行うコースへの出願は可能です。

イタリア大学省の高等教育専用サイト「www.university.it」でオンライン登録

! 合格後、学校から在日イタリア大使館(あるいは在大阪イタリア総領事館領事館)でビザを取得するための手続きをするよう指示されます。その際に、イタリア大学省の高等教育専用サイト「www.university.it」で下記のSTEP3、STEP4、STEP6を済ませてください。

STEP 3
 留学する年の
4月~
7月初旬予定

イタリア大学省の高等教育専用サイト「www.university.it」でオンライン登録

大学正規コース
音楽院
美術学院

- STEP2 **注意!**を確認する。

2019-2020年度までイタリア文化会館で行なわれていた「私費留学の手続き」はなくなり、イタリア文化会館を通さずに直接イタリアの教育機関にオンライン申請することになります。

そのため、まずイタリア大学省の高等教育専用サイト「www.university.it」で個人情報などを記入し、アカウントを作成してオンライン登録を済ませる必要があります。

なお、「University.it - 入学申請のオンライン登録」の登録方法に関しては、イタリア文化会館のホームページ「StudyinItaly.jp」の「留学手続き」で案内しています。

留学手続きの流れ

*留学手続きの流れや必要書類などは、年度によって変更されることがあります。イタリア文化会館のホームページ「イタリア留学総合サイトStudy in Italy」 studyinitaly.jp の「留学NEWS」や「留学手続き」などで最新情報を確認して下さい。

STEP 4

留学する年の
4月下旬～
7月中旬

留学希望先への入学申請を行なう

大学正規コース 音楽院 美術学院

2020年度より、**イタリア大学省高等教育専用サイト「Universitaly.it」**で留学希望先に入学申請のオンライン登録を完了させる必要があります。

イタリアの高等教育機関(大学・音楽院・美術学院)への出願は、1校の1コースのみ(IMATを除く)で、併願はできません。そのため、出願までに入学を希望する教育機関1校とコースひとつを確定させておく必要があります。STEP2の事前の入学選考審査を受ける場合、審査の結果が届いた後「Universitaly.it」で留学希望先に入学申請のオンライン登録を完了させてください。

なお、「Universitaly.it - 入学申請のオンライン登録」の登録方法に関しては、イタリア文化会館のホームページ「Studyinitaly.jp」の「留学手続き」で案内しています。

***2019-2020年度までイタリア文化会館で行なわれていた「私費留学の手続き」はなくなり、イタリア文化会館を通さずに直接イタリアの教育機関にオンライン申請することになります。**

! 入学申請を行う際、留学希望先が要求する審査書類をスキャンしてアップロードする必要があります(語学能力証明書、卒業証明書、成績証明書、等価証明書など)。留学希望先のホームページで確認するか、直接問合せの上で必要書類を申請してください。**尚、書類の取得方法に関しては、イタリア文化会館のホームページ「Studyinitaly.jp」の「留学手続き」で案内しています。**

STEP 5

留学する年の
6月～9月*

*留学先によって異なる。

入学試験のオンライン登録手続き

該当者のみ

教育機関やコースによっては、STEP4の手続きと併せて、入学試験のために出願先の教育機関で**オンライン登録が必要になる**ところがあります。

オンライン登録手続きとは?

教育機関やコースによって、イタリア大学省や出願先の教育機関のウェブサイトで、入学試験のためのオンライン登録を完了させる必要があります。オンライン登録手続きには2つのタイプがあります。

*オンライン登録手続き期間は、教育機関やコースによって異なりますので、出願先の教育機関に必ず確認して下さい。

タイプ1 特別な分野のオンライン登録手続き(IMAT等)

大学正規コース<第1レベル、第2レベル、第1と第2レベルの一貫コース>の特別な分野の定員制コースでは、イタリア大学省が定めたwww.universitaly.it上の特別なオンライン登録手続きを完了させる必要があります。

該当する教育機関 大学<第1レベル、第2レベル、第1と第2レベルの一貫コース>正規コース

該当する分野 Architecture, Medicine and Surgery, Odontoiatria e Protesi Dentaria, Medicina Veterinaria

英語で開講されるInternational Medical Courseの場合は、特別な入学試験IMAT (International Medical Admissions Test)が実施されるので注意!

手続き1 イタリア大学省の指定した手続き期間内に大学省の高等教育専用サイトwww.universitaly.itにアクセスし、IMATの専用ページでオンライン登録をする。その際、留学希望先は3校まで選択が可能です。

手続き2 イタリアあるいは選択された海外の試験会場で入学試験を受ける。

手続き3 合格・不合格の連絡を受け取る。あるいは、専用サイトで結果を確認する。

タイプ2 その他の分野のオンライン登録手続き

特別な分野以外でも、一部の大学や美術学院などで入学試験のためのオンライン登録が必要になることもあります。詳しくは、各教育機関のホームページで確認して下さい。

STEP 6

留学する年の
4月下旬～
7月中旬

入学申請の受理(認証)

大学正規コース 音楽院 美術学院

手続き1 留学希望先の認証を受ける

✓ STEP4「留学希望先への入学申請を行なう」を完了させると、留学希望先が登録データを審査します。後日留学希望先から申請受理の有無の通知が「Universitaly.it」の個人アカウントに届きます。

✓ 「Universitaly.it」の個人アカウントをチェックし、入学申請(Applications)の内容を確認します。留学希望先が申請を受理すると、「Forwarded to Embassy/Consulate」と伊語/英語で表示されます。これは、留学希望先から申請が受理され、「認証」を受けたことを意味します。同時に認証の受理がイタリア大使館にも通知され、留学希望者はビザの申請を行なうことが可能となります。

*入学試験がある場合、結果が発表されるまでは「認証」を受けられないこともありますのでご注意ください。なお、イタリアで受験する場合、「認証」を受けずにSTEP7「日本で就学ビザの申請」ができる場合もありますのでイタリア大使館(大阪総領事館)に確認して下さい。

手続き2 留学希望先の提出書類チェックを確認する

留学希望先に申請が受理されたら、「Universitaly.it」の認証済みのご自身の出願データ(SummaryあるいはRiepilogo)を開き、留学希望先がチェックした提出書類に不備があるか、あるいは追加の書類提出が必要かどうか確認して下さい。書類の追加提出が必要な場合、速やかに行ってください。

主な追加書類:

● Declaration of Value (Dichiarazione di Valore) - 等価証明書

*追加書類の取得方法に関しては、イタリア文化会館のホームページ「Studyinitaly.jp」の「留学手続き」で案内しています。

STEP 7

7月～9月

日本で就学ビザの申請

大学正規コース 音楽院 美術学院

ビザ申請については、**イタリア大使館(大阪総領事館)**のホームページで確認して下さい。

事前選考を実施する教育機関で事前選考に合格している場合

合格している教育機関から「入学許可証」を発行してもらい、おおよそ8月にイタリア大使館あるいは大阪総領事館で「就学ビザ」の申請を行う。

STEP 8

9月*

*留学先によって異なる。

イタリアで入学試験を受ける

大学正規コース 音楽院 美術学院

***事前選考を実施する教育機関で事前選考に合格している場合は、STEP8は該当しない。**

● イタリアの出願先の教育機関で入学試験を受けます。語学試験は全大学共通の9月初めの試験日に行われ、専攻コース別の試験は各教育機関が定めた日に実施されます。音楽院、美術学院の入学試験は、**9月上旬～下旬**にかけて各教育機関が定めた日に実施されます。詳細は必ず留学希望先のホームページで確認して下さい。

● 教育機関によっては入学試験の前にオンライン登録や受験料支払いが必要になる場合もあります。

STEP 9

出発後
イタリアで

イタリアで入学手続きを行う。イタリア留学生活の始まり

大学正規コース 音楽院 美術学院

● 入学試験合格後、日本に帰国せずSTEP7で取得した就学ビザでイタリアに滞在し、学校の窓口に必要書類を提出して、入学手続きを完了させる。

■出願書類について

出願に必要な書類は出願するコースによって異なり、留学する年によって変わる場合があります。正式な出願書類は、留学希望先のホームページで確認するか、直接問合せた上で必要書類を申請してください。尚、書類の取得方法に関しては、イタリア文化会館のホームページ「StudyinItaly.jp」の「留学手続き」で案内しています。

■イタリアの高等教育機関への留学手続きに関する問い合わせ

質問申込み受付期限: 通年

イタリア文化会館では、イタリアの大学、音楽院、美術学院、各種高等教育機関への留学・出願手続きに関する問い合わせを受け付けています。

※e-mailでの問い合わせのみ受け付けます。電話や郵送での問い合わせには一切お答えできませんのでご注意ください。

▼申込み方法▼

必要事項を明記の上、下記メールアドレスまでお送り下さい。折り返し、メールにてご返信します。

【お問い合わせ専用メールアドレス】

infostudyinitaly@gmail.com

【申し込みの必須事項】

- ◆お名前: 文化太郎(ローマ字:Taro Bunka)
- ◆メールアドレス: (例) bunkataro@△○□.com
- ◆電話番号: 090-XXXX-XXXX
- ◆留学カテゴリー: 下記より選択
 - 1) 大学留学 Bachelor's degree program
 - 2) 大学留学 Master's degree program
 - 3) 大学留学 その他
 - 4) 音楽院留学 Corso di Diploma Primo Livello (3年課程)
 - 5) 音楽院留学 Corso di Diploma Secondo Livello (2年課程)
 - 6) 音楽院留学 その他
 - 7) 美術学院・美術系専門学校 Corso di Diploma Primo Livello (3年課程)
 - 8) 美術学院・美術系専門学校 Corso di Diploma Secondo Livello (2年課程)
 - 9) 美術学院・美術系専門学校 その他
- ◆留学時期: (例) 2020年9月ごろ
- ◆留学希望先: 決定、あるいは検討されている高等教育機関名を書いて下さい。
- ◆希望コース名: 決定、あるいは検討されている留学希望先の正式なコース名を書いて下さい。
- ◆相談内容: 専攻コースの選び方と出願手続き方法が知りたいなど、調べているURLなども含め、詳細にお伝え下さい。

注意

- 語学留学や専門学校留学など、その他の留学の相談は受け付けていません。イタリア留学総合サイト「Study in Italy」をご参照下さい。
- 当館の留学相談は、留学情報の提供が中心となり、留学手続きの代行、特定の教育機関の紹介や入学斡旋等はありません。また、就学ビザ取得については、領事業務の管轄が在日イタリア大使館あるいは大阪イタリア総領事館となりますので、当館ではお答えできません。

■ビザ情報

ビザ申請の際に、ご自分の住所によって管轄のイタリア政府機関が異なります。愛知県と静岡県を境に、東日本の場合は東京のイタリア大使館領事部、西日本の場合は大阪のイタリア総領事館にお問合せ下さい。連絡先は以下の通りになります。

【イタリア大使館領事部】

〒108-8302 東京都港区三田2-5-4
Tel:03-3453-5291 Web:www.ambtokyo.esteri.it

【イタリア総領事館】

〒530-0005 大阪府北区中ノ島2-3-18 中之島フェスティバルタワー17F
Tel:06-4706-5820 Web:www.consosaka.esteri.it

「公益財団法人 日伊協会」は、イタリアの語学学校などへの留学サポートを行っています。

住所: 東京都港区赤坂7-2-17-207 Tel:03-3402-1632 Fax:03-3402-3707 Web:www.aigtokyo.or.jp

1週間の短期留学から滞在型、長期滞在まで、イタリア各地へ目的・プランに沿った留学をご案内。

- 資料閲覧室にて学校パンフレット、留学報告レポートなど自由に閲覧可能 (月～金 10:00～13:00、14:00～17:00)。
- 専門学校・工房へのご紹介もあり。
- イタリア留学冊子「Il Milione」(無料)を送付します。
- 無料留学相談(要予約)にて個別に対応。
- 奨学金制度あり。



PAULA CADEMARTORI



**You could be
the next me.**

I'M PAULA CADEMARTORI
FOUNDER & CREATIVE DIRECTOR OF PAULA CADEMARTORI
It all started with a Master course in Accessories Design at Istituto Marangoni Milano.
Now I've turned my dream into my career. How about you?

I'M ALUMNI COMMUNITY

MILANO · FIRENZE · PARIS · LONDON · MUMBAI · SHANGHAI · SHENZHEN · MIAMI

アート
 ジュエリー制作・デザイン
 カバン制作・デザイン
 靴制作・デザイン
 インテリアデザイン
 建築デザイン
 プロダクトデザイン
 絵画、絵画修復
 家具制作・家具修復
 グラフィックデザイン
 ファッションデザイン
 テキスタイルデザイン
 陶芸
 ガラスアート
 フラワーアレンジメント
 彫刻
 国立アカデミー入学準備



Accademia Riaci
 since 1983

フィレンツェで本物を学ぶ

創立37年

Accademia Riaci

アカデミアリアチ

www.accademiariaci.info Via de' Conti 4, 50123, Firenze

ビジネス

ファッションビジネス
 アートマネジメント
 デザインマネジメント
 イベントマネジメント
 レストランマネジメント

インターンシップ

キャリアインターンシップ
 レストランインターンシップ
 スペシャルインターンシップ

その他のコース

マスターコース
 6か月メスマスターコース
 3か月未満の短期コース
 日本語通訳付きコース
 サマーコース



アカデミアリアチ東京オフィス 〒106-0047 東京都港区南麻布5-15-20-702
<https://www.ladovina.net> Tel.03-5449-1441 / 03-5449-8200 FAX.03-5449-1444



FCAS
 Florence Culinary Arts School

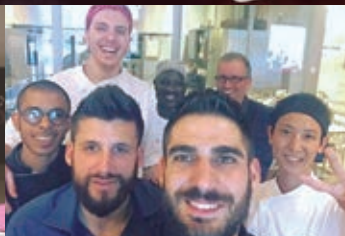
フィレンツェ料理学園

Via de' Conti 4, 50123, Firenze

食の都フィレンツェで
 本格イタリア料理を学ぶ

イタリア料理シェフ養成コース
 レストランインターンシップ
 イタリア家庭料理コース
 バリスタコース
 ジェラートコース
 ピザ・製パンコース
 ソムリエコース

長期留学、短期留学、一日体験コースを
 ご用意しております。



フィレンツェ料理学園東京オフィス 〒106-0047 東京都港区南麻布5-15-20-702
www.florenceculinaryschool.com/jp/ Tel.03-6228-1441 FAX.03-5449-1444

